

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 白峰方言調査 語彙集

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002503">https://doi.org/10.15084/00002503</a>

## 白峰方言調査 語彙集

### 本語彙集の見方

- ・この語彙集は、標準語見出しで、五十音順で並んでいます。
- ・掲載順は以下のとおりです。

標準語見出し(ひらがな・漢字仮名混じり) 方言語彙(カタカナ) [音声記号] ア ク  
セント型 例文(方言例文をカタカナ、その標準語訳を(漢字仮名混じり文)) 【備考】

- ・例文が複数ある場合は、「/」で区切って示します。
- ・アクセント型、例文、備考などはない場合があります。
- ・特に用言については、例文中に□として、それぞれの活用形のアクセント型を示す場合があります。
- ・アクセント型はそれぞれの語形に付しています。たとえば、「はぐき(歯茎) ハギシ [haɟiɕi]、ハゲシ [haɟesi] h0」という記述の場合、「ハゲシ」のアクセント型はh0型であるという表示で、「ハギシ」に関しては未調査、ということを示します。

凡例

おかあさん(お母さん) イネ [ine] k1 例: イエノ イネー ドコ イッチャロコ。  
(うちの母ちゃんどこいったの?) 【備考: 妻や母のことを言う。】

### 本語彙集の注意点

- ・本語彙集においては、多くの変異が観察されます。たとえば、「蕨」を意味する単語を見ると、「ワラベ」と「ワラビ」がある、とされています。これらの変異が、話者間の変異であるのか、話者内の変異であるのか、などといった点は、本語彙集においては記載していません。音声表記についても、調査者間の表記の統一は行っていません。

仮名・音声記号対応表(「-」は本調査で確認されなかったことを意味する)

	音素	/a/	/i/	/u/	/e/	/o/
	異音	[a]	[i, i̠, i̡]	[ɯ, u]	[e, e̠]	[o, wo, ɔ]
	仮名	ア	イ	ウ	エ	オ
/p/	音素	/pa/	-	/pu/	/pe/	/po/
	異音	[pa]	-	[pu, pu̠]	[pe]	[po]
	仮名	パ	-	プ	ペ	ポ

/b/	音素	/ba/	/bi/	/bu/	/be/	/bo/
	異音	[ba]	[bi, bi̯, bi]	[bu, bu]	[be]	[bo]
	仮名	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
/m/	音素	/ma/	/mi/	/mu/	/me/	/mo/
	異音	[ma]	[mi, mi̯, mi̯, mi]	[mu]	[me, mi̯e, me̯]	[mo]
	仮名	マ	ミ	ム	メ	モ
/t/	音素	/ta/	/ti/	/tu/	/te/	/to/
	異音	[ta]	[tei]	[tu, tu, tu, tθu]	[te]	[to]
	仮名	タ	チ	ツ	テ	ト
/d/	音素	/da/	-	-	/de/	/do/
	異音	[da, ða]	-	-	[de]	[do]
	仮名	ダ	-	-	デ	ド
/n/	音素	/na/	/ni/	/nu/	/ne/	/no/
	異音	[na]	[ni, ni]	[nu, nu]	[ne]	[no]
	仮名	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
/s/	音素	/sa/	/si/	/su/	/se/	/so/
	異音	[sa, θa]	[si, θi, θi̯]	[su, su, θu, si̯]	[se, θe, se̯]	[so, θo]
	仮名	サ	シ	ス	セ	ソ
/z/	音素	/za/	/zi/	/zu/	/ze/	/zo/
	異音	[za, ða, dza, dða]	[zi, dzi]	[zu, zu, zu, dzu, dðu]	[ze, ze, ðe]	[zo, dzo, dðo]
	仮名	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
/r/	音素	/ra/	/ri/	/ru/	/re/	/ro/
	異音	[ra]	[ri, ri]	[ru, ru]	[re, re̯]	[ro]
	仮名	ラ	リ	ル	レ	ロ
/k/	音素	/ka/	/ki/	/ku/	/ke/	/ko/
	異音	[ka]	[ki, ki]	[ku, ku]	[ke, ke̯]	[ko, ko̯]
	仮名	カ	キ	ク	ケ	コ
/g/	音素	/ga/	/gi/	/gu/	/ge/	/go/
	異音	[ga, ŋa]	[gi, ŋi, ŋi̯]	[gu, ŋu, ŋu]	[ge, ŋe]	[go, ŋo]
	仮名	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ

/h/	音素	/ha/	/hi/	/hu/	/he/	/ho/
	異音	[ha]	[çi]	[φu, φu]	[he]	[ho]
	仮名	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
/w/	音素	/wa/	-	-	-	-
	異音	[wa]	-	-	-	-
	仮名	ワ	-	-	-	-

/j/	音素	/ja/	/ju/	/jo/
	異音	[ja]	[ju, ju]	[jo]
	仮名	ヤ	ユ	ヨ
/m/	音素	/mja/	-	/mjo/
	異音	[m <sup>h</sup> ja]	-	[m <sup>h</sup> jo]
	仮名	ミヤ	-	ミヨ
/t/	音素	/tja/	-	/tjo/
	異音	[t <sup>h</sup> ea]	-	[t <sup>h</sup> eo]
	仮名	チャ	-	チョ
/n/	音素	/nja/	-	/njo/
	異音	[n <sup>h</sup> ja, na]	-	[n <sup>h</sup> jo, no]
	仮名	ニヤ	-	ニヨ
/s/	音素	/sjja/	-	/sjjo/
	異音	[s <sup>h</sup> ea]	-	[s <sup>h</sup> eo]
	仮名	シヤ	-	シヨ
/z/	音素	/zja/	-	/zjo/
	異音	[d <sup>h</sup> za, za]	-	[d <sup>h</sup> zo, zo]
	仮名	ジヤ	-	ジヨ
/r/	音素	/rja/	-	/rjo/
	異音	[r <sup>h</sup> ja]	-	[r <sup>h</sup> jo]
	仮名	リヤ	-	リヨ
/k/	音素	/kja/	/kju/	/kjo/
	異音	[k <sup>h</sup> ja]	[k <sup>h</sup> ju]	[k <sup>h</sup> jo]
	仮名	キヤ	キユ	キヨ
/g/	音素	/gja/	-	-
	異音	[ŋ <sup>h</sup> ja]	-	-
	仮名	ギヤ	-	-

/h/	音素	/hja/	-	/hjo/
	異音	[ça]	-	[ço]
	仮名	ヒヤ	-	ヒヨ

音素	/N/
異音	[n, m, ɳ, ŋ, ɲ]
仮名	ン
音素	/Q/
異音	[zz, kk, tt, θθ, ss, ɕɕ, pp, tɕ, dɕ]
仮名	ツ
音素	/:/
異音	[aː, iː, uː, uː, eː, oː]
仮名	-

## あ

あおい (青い) アオイ [aoi] k1 例: ソラガ アオイニャー。(空が青いなあ。) アーオナル。 k0 (青くなる。)

あか (垢) アカ [aka] k1 例: フロ ハイッテ アカ オコシテ コー。(風呂に入っ  
て垢を落としてこい。)

あかい (赤い) アーキャ [a:kia] k1 例: アノ ミーワ アオイケツトカ コノ ミー  
ワ アーキャ。(あの実は青いけれども、この実は赤い。) アーコナル。 k0 (赤くなる。)

あかぎれ アカギレ [akajire] k0

あかつき (暁) アケガタ [akejata] h0 例: アケガタニ ユキナガシ ショーカニャ  
ー。(あかつきに雪かきしようかな。)

あかり (灯り) アカリ [akari] 例: アカリガ ツイチョル。(灯りがついている。)

あき (秋) アキ [aki] k1 例: アキワ オブツジ ジョーニャー。(秋はお仏事ですよ。)

あきのしごとをおわらせること (秋の仕事を終わらせること) アキジマイ [akizimai]  
h0

あくび (欠伸) アグビ [agubi] k1 、アクビ [akubi] k1 例: ネプトテ アグビ  
ガ デルニャ。(眠たくてあくびが出るなあ。)

あけび アクビ [akubi] k1 例: アクビ アンマリ ンマイ モンジャナイサカイニ シ  
ャーニ クイトナイ。(あけびは、あまり旨いものじゃないから、そんなに食べたくない。)  
【備考: 苦い種が赤痢の薬になる。】

あご (顎) アゴ [ago] k1 例: アゴ ウッタ。(あごを打った。)

あさ (朝) アサゲリ [asageri] h3 、アサギリ [asagiri] h3 例: アサギリノ ウチ  
ニ コノ シゴトワ シテシマオ。(朝のうちにこの仕事はしてしまおう。)

あさいと (麻糸) ノノイト [nonoito] h2

あさせ (浅瀬) アサセ [asase] 例: アサセデ イオメオ トルワイ。(浅瀬で魚をとる。)

あさって (明後日) アサッテ [asatte] k1 例: アサッテカラ ヌクトイゾ。(明後日か  
ら あたたかいよ。) / アサッテモ ヌクトイヤロコ。(明後日も暑いだろうか。)

あさぬの (麻布) ノノ [nono] k0 例: ノノオ オル。(麻布を織る。)

あさのせんい (麻の繊維) オー [o:] k0 例: オー ウム。(麻の繊維をよって糸にす  
る。) / オー ヒク。(麻の繊維を作る。)

あさめし (朝飯) アサギリノ ママ [asagirino mama] h3+h0 、アサイ [asai] k1  
例: アサギリノ ママ クタコ。(朝ごはんたべたか?) / キョーワ イシャ イカンナンデ  
アサギリノ ママ クー コト ナランジャ。(今日は医者に行かないといかないから、朝食  
たべるのはだめなんだ。) / アサイ クタイカ。(朝ごはんたべたか?) / ハヨー アサイ タ  
ベヤ。(はやく朝ごはん食べなさい。)

あし (足) アシ [aei] k1 例: アシガ ナーギャ ヒトヤナ。(足が長い人だな。)

- あじ (味) アジ [adzi ~ azi] h0 例: コノ ニシメ ナンチュー アジガ ワーリナ。  
ナンナ クドイヤカ ウーシヤカ。(この煮しめすごく味が悪いな。味が濃いかな、薄いかな。)  
／アジガ ヘット アマイ。(味がすこし薄い。)
- あした (明日) アシタ [acita] k0 例: アシタカラ アメガ フラシー。(明日から  
雨が降るらしい。)/アシタカラ アメガ フラニャ エーガ フツチャルクーニャ。(明  
日から雨が降らないといいけど降ってくるかな。)
- あしのうら (足の裏) アシノヘラ [acinohera] k0+h0、アシノウラ [acinoura] k0+k1
- あせ (汗) アセ [ase] h0 例: モー ノクトーテ アセ カイタ。(もう、暑くて汗を  
かいた。)
- あぜみち (畦道) アゼ [aze] 例: アゼガ クズレテ シモータ。(畦が崩れてしまった。)
- あそこ アシコ [aciko] 例: アシコニ オルノ ダイナ。(あそこにいるのはだれか。)
- あたたかい (暖かい) ノクトイ [nokutoi] 例: ヤー ノクト。(ああ、あったかい。)  
／マーヘット ノクトイ トコ イキチャニャ。(もっと暖かいところに行きたいな。)
- あたま (頭) カシラ [kacira] k1 例: カシラガ ウツ。(頭が痛い。)
- あつい (熱い) アーチ [a:tei] k1 例: コノシル アーチナイコ。(この汁熱くない  
か。)/アーツナル。 h0 (熱くなる。)
- あつい (暑い) ヌクトイ [nukutoi] h3 、ノクトイ [nokutoi] h3 例: ノクトナ  
イヤカ。(暑くないか。)
- あと (跡) アト [ato] h0 例: ココワ ムカシノ イエノ アトヤ。(ここは昔の家の  
跡だ。)/イノシシノ アシノ アトヤ。(イノシシの足の跡だ。)
- あな (穴) アナ [ana] k1 例: アノ イエ カベニ アナガ アイチョルニャ。(あ  
の家は壁に穴があいているなあ。)
- あなた ワレ [ware] h0、ワイ [wai] h0 例: ワリャ ドコ イクナ。(あなたはどこへ  
行くのか。)  
【備考: 年下や親しい仲間に対して使う。年上に対しては名前を用いる。】
- あなたたち ワッラ [warra] h2 例: ワッラ ドコ イクナ。(あなたたちはどこへ行く  
のか。)  
【備考: 年下や親しい仲間に対して使う。年上が複数名いる場合は「○○サンラ」と  
する。】
- あばらぼね (肋骨) アバラノホネ [abarano hone] k0+k1、アバラボネ [abarabone] k4 例: アバラノホネガ シワッタ。(あばら骨が中へ反った。)/アバラ シタイカ。(あば  
ら骨を痛めたのか。)
- あぶら (油) アブラ [abura] h0, k1 例: ムカシワ アブラ ツコテ アカリオ トッ  
タ。(昔は油を使ってあかりをとった。)/テンプラアブラオ コーテコイヤ。(天ぷら油を買  
ってこい。)
- あぶらあげ (油揚げ) アブラゲ [aburage] h0 例: アブラゲ ツクッテクレ。(油揚  
げを作ってくれ。)

あまい (甘い) アーミヤ [a:mja] k1 例: コノ アメ ナンチューー アーミヤナ。(この飴はとても甘いな。) /アーモナル。 k0 (甘くなる。)

あみ (網) アミ [ami] k1 例: アミワ テーレガ ダイジナ。(網は手入れが大事だ。)

【備考: 上等の絹糸などで作られたゴリ採り用のものなどもあった。】

あめ (雨) アメ [ame] h0 例: アメガ フッチョル。(雨が降っている。)

あられ (霰) アラレ [arare] k0 、アラネ [arane] k0 例: アラネゴチ。(霰が吹き付けること。)

あり (蟻) アリメ [arime] k0

ありがとう ヨシタイ [jocitai] k1 、ヨーサッシャッタ [jo:sas'atta] k0+h3 例: ホンノニ ヨシタイ ヨー。(ほんとうにありがとう。)  
【備考: ヨーサッシャッタの方がより丁寧。】

あれ アイ [ai] k1 例: アイワ ナンナー。(あれは何か。)

あわ (泡) アワ [awa] k1 例: アワガ タッチョル。(泡が立っている。)

あわ (粟) アワ [awa] h0 例: コトシワ アコエ アワ マコカ。(今年にあそこに粟をまこうか。) /モチアワ。(餅粟。) /ウルアワ。(ご飯にする粟。)

あわせがき (合わせ柿) アワセガキ [awasegaki] k0 例: アワセガキデモ ツクロカ。

(合わせ柿でも作ろうか。)  
【備考: 酒、柿、お湯を入れた樽に藁をかぶせて密封してつくる。】

あわのごはん (粟のご飯) アーママ [a:mama] k2, k4

い

いえ (家) イエ [ie] k1 例: ジーサ イエデ サケ ノージョル。(おじいさんは家で酒を飲んでいる。) /アノ ウチワ イエノヤ。(あの家屋はうちのものだ。)  
【備考: 家の家屋のことも、血縁者のこともさす。】

いへのまえのひろば (家の前の広場) コバ [koba] 例: イエノ マエノ コバニ ムシロ シーテ ヒエナンカ ホスヤワイ。(家の前に筵を敷いて、稗なんかを干すよ。)  
【備考: 採ってきたもの(秋は栃、春は山菜など)を乾かすために筵を広げたり、布団や着物を干したりした。】

いか (烏賊) イカ [ika] k0 例: イカ ホス。(イカを干す。)  
【備考: 干したものはスルメと言う。】

いき (息) イキ [iki] h0 例: イキガ コワイ。(息が苦しい。)

いくつ イクツ [ikutsu] h2 例: イクツ カウナ。(いくつ買うのか。)

いくら イクラ [ikura] h0 例: コレ イクラナ。(これ、いくら。)

いさり (夜の漁) ヨガケ [jogake] h0 、イサリ [isari] 例: イサリリョーニ ヨクイッタ。(いさりによく行った。)  
【備考: イワナをとる。】

いし (石) イシナ [icina] h0, h2 例: ツケモンイシナ。(漬物石。) /ハタケノ イシナ オ トレヤ。(畑の石をとれ。)

いしがき (石垣) イシガキ [icigaki] h0



いしわら (石原) ゴロワラ [gorowara] h3、ゴーロワラ [go:rowara] k4、イシ  
 コロワラ [icikorowara]、イシワラ [iciwara]、イシナワラ [icinawara] h3 例：アシ  
 コワ ゴロワラデ モノガ デキン。(あそこは石原で、作物ができない。) / コリヤ テン  
 ポナ ゴロワラヤサカイ ヨージンシテ アルケヤ。(これはひどい石原だから、用心して歩  
 けよ。) / カーナ イシワラ アンマリ アルケンワイ。(こんな石原、あまり歩けないよ。)  
 / イシワラヤカン。(石原にヤカンを引くように、滑らかでない様子を言う表現。特に、話が  
 滑らかでないこと。)

いずみ (泉) ショーズ [eo:dōu ~ eo:zu ~ eo:zu] h0 例：アッコノ ヤマニワ デカイ  
 ショーズガ アル。(あそこの山には大きな泉がある。) / ショーズミズ。(泉の水。) / ショ  
 ーズニ ミズクミニ イッテクルワイ。(泉に水を汲みに行ってくるよ。)【備考：山から地下  
 水として出てきた水が溜まったところ。昔は村の半分しか水を確保できなかった。林西寺の  
 後ろに地下水が流れているので、そこに水を汲みに行き、生活していた。】

いた (板) イタ [ita] h0 例：コノ イタ マガッチョル。(この板は曲がっている。)

いたどり イタドリ [itadori] h0 例：イタドリワ ンモーナイデ クワランダ。(いたど  
 りはおいしくないから食べなかった。)

いちご (苺) イチゴ [iteigo] h0、ヤマイチゴ [jamaiteigo] 例：ヤマイチゴガ ア  
 ル。(山イチゴがある。)

いつ イツ [itsu] h0 例：イツ モドルナ。(いつ戻るのか。)

いつつ (五つ) イツツ [itsutsu] k1

いと (糸) イト [ito] h0 例：イトノ ヨーニ ホソイニャー。(糸のように細い。)

いど (井戸) イド [ido] h0 例：コノ イドワ ヨイ イドヤ。ズット カレント デ  
 チョッチャ。(この井戸は、良い井戸だ。枯れずにずっと出ているよ。)

いとこ イトコ [itoko] k1 例：イトコガ オーゼイ オル。(いとこがたくさんいる。)

いなびかり (稲光) イナビカリ [inabikari] 例：キョーワ イナビカリガ サイサイ  
 デルニャー。(今日は稲光がたびたび出るな。)

いぬ (犬) イヌ [inu] k1、イリメ [irime] k1 例：アシコノ ウチワ イリメ コ  
 ーチョル。(あそこの家は犬を飼っている。) / アシコワ イリメオ ウチデ コーチョッチ  
 ャト。(あそこは犬を家で飼っている。)

いね (稲) イネ [ine] h0

いのち (命) イノチ [inotei] k1 例：イノチ ダイジニ セーヤ。(命を大事にしるよ。)

いま (居間) オミャー [omja:]、オミヤ [omja] h0 例：オミャー ハコマイカ。(居  
 間を掃こうじゃないか。) / オミャー ハクヤサカイ ヨレヤ。(居間を掃くんだから〈脇に〉  
 寄れ。) / オミャーノ マンナカニワ ジロガ アッチャッタヤワイ。(居間の真ん中には囲  
 炉裏があった。)【備考：いろりがあって食事をする。藁を編んだり叩いたりなどの作業場  
 もあった。】

- いま (今) イマ [ima] h0 例: イマ スグ シェーヨ。(今すぐやれよ。)
- いも (芋) イモ [imo] k1 例: イモー ウエル。(芋を植える。)
- いもり (イモリ) イモルメ [imorume] h0
- いれずみ (入れ墨) イレズミ [irezumi] 例: テンポナ デカイコト イレズミガ ハイッチョッタ。(たくさん入れ墨が入っていた。)
- いろ (色) イロ [iro] k1 例: コノ エワ デカイコトノ イロ ツコーチョッチャニャ。(この絵はたくさんの色を使っているんだね。)
- いろり (囲炉裏) ジロ [dziro~dziro:] h0 例: ジロバタデ ママ クーカ。(囲炉裏のそばでご飯を食べようか。) / ジローノ ヒー キャースナ。(いろりの火を消すな。)
- いろりのおくをむいたひだり (囲炉裏の奥を向いた左) ナベジャ [nabedza~na:bedza:] h0 【備考: 玄関から見て左手。母・主婦の座。その後ろに鍋を置く。】
- いろりのおくをむいたみぎ (囲炉裏の奥を向いた右) オノコジロ [onokodziro] k4 【備考: 玄関から見て右手。長男が座る。客が来れば客が座る。】
- いろりのかみ (いろりの上) ヨコジャ [jokodza~jokoza] h0 例: ヨコジャワ オヤジ オット モー スワレンジャッタ。(ヨコジャは父親がいると、もう、座れなかった。)
- 【備考: 玄関から見て奥。父・家長の座るところ。】
- いろりのしも (いろりの下) スエジャ [0wedza~sueza] h0 例: スエジャニワ ヨメガ スワルワイ。(スエジャには嫁が座る。)
- 【備考: 長男以外の子が座る。】
- いろりばた (囲炉裏端) ジロバタ [dzirobata] h0 例: ジロバタイ センパ オイチャール。(いろりばたに十能が置いてある。)
- いわい (祝い) イワイ [iwai] k0
- いわな (岩魚) イオメ [iome] k0 例: イオメ トリニ イッテ コイ。(イワナを取りに行つて来い。)
- う
- うえ (上) ウエ [ue] h0 例: ソレオ タナノ ウエニ オケ。(それを棚の上におけ。)
- うさぎ (兎) ウサギ [uθaŋi] h0、オサギ [osaŋi]、ウサギメ [usaŋime] h0、オサギメ [osaŋime] 例: ウサギガ クサ カルー。(ウサギが草を齧る。) / コノハワ ウサギガ カッタンニャ。(この葉はウサギが齧ったのだ。)
- うし (牛) ウシ [usi] k0、ウシメ [ucime] k0 例: ウシワ コータコト ナイ。(牛は飼ったことがない。)
- 【備考: 大道谷には牛を飼う家が3軒あった。肉にして食べた。】
- うじ (蛆) ウジメ [uzime] k1 例: ウジメガ ワイチョル。(蛆がわいている。)
- うしろ (後ろ) ウシロ [uciro] k1 例: ウシロエ イケ。(後ろへ行け。) / イエノ ウシロ。(家の後ろ。)
- うす (臼) ウス [usu] h0 例: コノ ウスワ オモテーサカイニ オーゼイ ヒトオ ヨンデ コイ。(この臼は重いから大勢人を呼んで来い。) / カチウス。(搗き臼。)

うずら（鶉） ウズラ [uzura] 例：ウズラワ オランジャ。（鶉はいないよ。）

うそつき（嘘つき） ダマシコキ [damacikoki]

うた（歌） ウタ [uta] [k1] 例：ヤー ヨイ ウタヤ。（ああ、いい歌だ。）

うち（内） ウチ [uci] [k1] 例：オニワ ソト、フクワ ウチ。（鬼は外、福は内。）

うつくしい（美しい） ケッコナ [kekkona] [k1] 例：ケッコナ イロ シチョルニャー。  
（きれいな色をしているねえ。）

うで（腕） ウデ [ude] [k1] 例：ウデニ サガル。（腕にぶら下がる。）

うど ウド [udo] [k1] 例：ウド ツケチョコマイカ。ホンコサンニ ツカオー。（うどを漬けておこうじゃないか。報恩講（の御膳）に使おう。）【備考：漬けておいて保存食にする。採取の季節は茹でて食べる。】

うなぎ（鰻） ウナギ [unagi] [h0]

うなじ オナド [onado] [k1] 例：オナドニ ユキガ ハイッタ。（襟首に雪が入った。）

うに（雲丹） ウニ [uni] [k1]

うま（馬） シマ [mma] [k1]、ウマ [uma]、シマメ [mmame] [k1]、ウマメ [umame]

例：ヤセタ シマオ カッテ クル。（痩せた馬を借りて来る。）／ムカシワ シマメワ バ  
シャオ ヒーチョッタ。（昔は馬は馬車を引いていた。）／ウマメノ シリッポ。（馬の尾。）

【備考：稗の田で馬に鋤を引かせたり、糞を溜めて畑の肥料にした。買うのではなく、夏の間だけ借りた。貸し借りを仲介する人がいた。山から木を引いて来るのに馬に引かせることもあった。】

うみ（海） ウミ [umi] [h0] 例：コッカラ ウミワ トークテニャー。（ここから海は遠いねえ。）

うみ・のう（膿） ウミ [umi] [k1] 例：ウミガ デル。（膿が出る。）

うめ（梅） シメ [mme] [k0] 例：シメモ ナイ。（〈白峰には竹林がない〉梅もない。）／シメボシ。（梅干し。）

うら（裏） ウラ [ura] [k1] 例：コノ フクワ ドッテガ オモテナ ウラナ。（この服はどっちが表か裏か？）

うり（瓜） カタウリ [katauri] [h0]、ウリ [uri] [h0] 例：ウリノ クキ ツケテ  
クオーカ。（瓜の茎を漬けて食おうか。）【備考：太くて、縞のある瓜。縞瓜。】

うるし（漆） ウルシ [uruci] [k0] 例：ウルシデ テガ カブレタ。（漆で手がかぶれた。）

うれしい（嬉しい） ウリシ [uriei] [k1] 例：シナガ シマレタトキワ ウリシカッタ。  
（子供が生まれたときは嬉しかった。）ウリシナル。 [k0]（うれしくなる。）

うろこ（鱗） ウロコ [uroko] [k1] 例：ウロコ ナイ。（〈イワナは〉鱗がない。）

うんぱんにん（運搬人） ボッカ [bokka] [h0] 例：ボッカ タノンデ コメ カンデ キ  
テ モラオカ。（荷運び人を頼んで、米を担いできてもらおうか。）／ハクサンボッカ。（白山へ行く運搬人。）／ユービンボッカ。（郵便配達。）【備考：仕事として白山などに食料や資材

を運ぶ人。大道谷にも一人、二人いた。】

うんぱんようせあて(運搬用背当て) バト[bato] k1、シャックリバト[cakkuribato] h5、ワラバト[warabato] h0、シャックリバド[cakkuribado~cakkuribato] h5  
例：バト キテケヤ。セナカ イーチャサカイ。(バトを着て行けよ。背中が痛いから。) / シャックリバト。(ぼろ布を割いて作ったバト。)【備考：シャックリバトの上にワラバトを重ねる人もいる。】

## え

え(柄) エー[e:] k0 例：エーガ マガッチョル。(柄が曲がっている。)

えだ(枝) エダ[eda] k0 例：エダ アツベテ モッテ コイ。(枝を集めて持ってくる。)

えび(海老) エビ[ebi] k0 例：エビ メッタト タベン。(エビはめったに食べない。)

えり(襟) エリ[eri] k1 例：エリガ キタニヤ。(襟が汚い。)

## お

お(緒) ハナオ[hanao] k0 例：ジョーリノ ハナオガ キレタ。(草履の鼻緒が切れた。)

お(尾) シリッポ[cirippo] h2 例：ナーギャ シリッポ シチョッタ。(長い尻尾をしていた。) / シリッポダケ ヨー ミエタ。(尻尾だけよく見えた。)

おい(甥) オイ[oi] k1

おいしい(美味しい) ンマイ[mmai] k1 例：ンマカッタ。h3(美味しかった。) / ンモ ナル。h0(美味しくなる。)

おおきい(大きい) デカイ[dekai] h2 例：ヤー デカイヤ。(ああ、大きいな。) / コイワ アイヨリ デカイニャー。(これはあれより大きいな。) / デカイナル。h0(大きくなる)

おおづち(大槌) カケヤ[kakeja] k0 例：カケヤ モッテ コイ。(大槌を持って来る。)  
【備考：大きな槌。木を割ったり、太い杭を打ったりするのに使う。】

おか(丘) オカ[oka] k0 例：コノヘンニ オカワ ナイヤワイ。(この辺に丘はないよ。)

おかあさん(お母さん) イネ[ine] k1、オッカ[okka] 例：イエノ イネー ドコ イッチャロコ。(うちの母ちゃんどこいったの?) / オッカノ コトワ アンマリ シラン。(お母さんのことはあんまり知らない。)  
【備考：イネは、妻や母のことを言う。オッカは呼びかけに使えるが、イネは呼びかけに使えない。】

おかず サイ[sai] h0 例：キョーノ サイワ テンプラヤゾ。(今日のおかずはテンプラだよ。)、ママノ サイニ カッテ クー。(ご飯のおかずにして食べる)

おく(奥) オク[oku] k1 例：アノ ドークツノ オクワ アブニャ。(あの洞窟の奥は危ないぞ。)

おけ(桶) オーケ[o:ke] h0、オケ[oke] 例：ワッラ オーケヲ コワスナヤ。(お

前たち桶を壊すなよ。) / カズキオケ。(担ぐ桶。背負い子。) / コヤシオケ。(肥やし桶。)【備考：小さいものはオケ。大きいものはオーケ。さらに大きいものはドーケ。】

おじ(叔父、伯父) オッサン [ossan] h0

おじいさん(お爺さん) オージーサ [o:zi:θa~o:zi:sa]、ジーサ [zi:θa~zi:sa] 例：イエノ ジーサワ ドエライ サケノミ ヤッタ。(うちの爺さんは大変な酒飲みだった。) / ジーサシュー、バーサシュー。(おじいさんたち、おばあさんたち。)

おじさん ジーサ [dzi:sa] h0,k1 例：ジーサシュー。(おじさんたち。)

おぜん(お膳) オゼン [ozen] h0 例：オゼンオ モッテコイヤ。(お膳を持って来なさい。)

おちゃうけ(お茶請け) チャージオー [tea:zio:] h0 例：チャージオーニ ショー。(お茶請けにしよう。)

おっと(夫) トッサ [tossa] k1 【備考：お父さんや夫のこと。呼びかけに使える。】

おでき デギモン [degimon] h0 例：イーチャサカイ デギモン アタンナ。(痛いのでできものに触るな。)

おと(音) オト [oto] k1 例：ヤー ヘンナ オトヤニヤ。(変な音だな。) / ナンチューー デカイ オトガ シンナ。(なんという大きな音がするのか。)

おとうさん(お父さん) トッサ [tossa] k1 例：イエノ トッサワ アンマリ オコラン。(うちのお父さんはあんまり怒らない。)

おとこのこ(男の子) ボー [bo:] k1 【備考：特に長男を言う。】

おとしあな(落とし穴) オチゴロ [otciŋoro~ɔtciŋoro] h0

おととい(一昨日) オトテ [otote] k1 例：オトテ サケ ノーダ。(一昨日酒を飲んだ。) / オトテワ カデガ ムチャクチャニ ツヨカッタ。(一昨日は風がとても強かった。)

おととし(一昨年) オトトシ [ototoci] h2 例：オトトシノ ハナシワ モー ワスレテ シモタ。(一昨年の話はもう忘れてしまった。)

おどり(踊り) オドリ [odori] k0 例：ヤー カワッタ オドリヤ。(ああ、変わった踊りだ。)

おなじ(同じ) オンナシ [onnaci] h0 例：アノ シューラー オンナシ フク キチヨルニヤー。(あの人たちは同じ服を着ているね。)

おに(鬼) オニメ [opime] k1 例：オニメッテ ホンノニ オッチャロコ。(鬼って本当にいるんだろうか。) / オニメッテ ホンノニ オッチャカ。(鬼って本当にいるんだろうか。)

おにいさん(お兄さん) アンチャ [antca] k1 例：アンチャ ゲンキカ。(お兄ちゃん、元気か。)

おにぎり ママンダマ [mamandama] h0 例：ヤマ イクシー ママンダマ ツクッテクレ。モッテ イクワイ。(山に行くし、おにぎりを作ってくれ。持って行くよ。)

おね(尾根) オボネ [obone] h0 例：アノ オボネ コエテ ムコーマデ イッテキ

タ。(あの尾根(山頂)を越えて向こうまで行ってきた。)

おば(叔母、伯母) オバ [oba] k0 例: オバガ ウチ ヨッテキタ。(おばさんの家に寄ってきた。)

おばあさん(お婆さん) オーバーサ [o:ba:0a~o:ba:sa]、バーサ [ba:0a~ba:sa] k1 例: ジーサモ バーサモ シゴト シタモンジャ。(爺さんも婆さんもよく仕事したものだ。) / イエノ バーサワ シゴトシー ヤッタ。(うちのお婆さんは働き者だった。)

おび(帯) オビ [obi] h0 例: オビガ ホドケチョルサカイ シメ。(帯がほどけているから、絞める。)

おもて(表) オモテ [omote] k1 例: コノ フクワ ドッテガ オモテナ ウラナ。  
(この服はどっちが表か裏か?)

おや(親) オヤ [oja] k1 例: ワガノ オヤ。(自分の親。)

おやこ(親子) オヤコ [ojako] h0 【備考: 親戚の意味のオヤコは k1】

おんな(女) メロ [mero] k1、メーロ [me:ro] h2 例: メロシュー。(女性たち。)

おんなのこ(女の子) メロ [mero] k1、メーロ [me:ro] h2、アマ [ama] h0、コベ [kobe] 例: メロシュー。(女の子たち。)  
【備考: 生まれたばかりの女の子のことをアマという。】

## か

か(蚊) カーメ [ka:me] k0 例: カーメニ ササレテワイ。(蚊に刺されたよ。)

かい(貝) カイ [kai] k1

かい(權) カイ [kai] k1 例: チカラ イッパイ カイオ コゲ。(力いっぱい權をこげ。)

かいこ(蚕) カイコサマ [kaikosama] h0、カイコサン [kaikosan] h0 例: オカイコサン。(蚕。)

かいこ・じょうぞくまえのかいこ(蚕・上簇前の蚕) ハイコ [haiko] k1

かいこがねること(蚕が寝ること) イコ [iko] 例: カミノイコ。(k1回目のイコ。) / タケノイコ。(2回目のイコ。) / フナノイコ。(3回目のイコ。) / ニワノイコ。(4回目のイコ。)

かいこをかうさお(蚕を飼う竿) エメダツ [emedat0u] h0 例: カイコオ エメダツニ ナラベル。(蚕を棚に並べる。)

かいこをわけるおおもと(蚕を分ける大元) ヨーザン [jo:zan] h0 【備考: 養蚕一般もヨーザンという】

かえる(蛙) ベットメ [bettome] k1

かお(顔) ツラ [tsura] k1、カオ [kao] k0 例: チョット ツラ コッチ ムケヨ。(ちょっと顔をこっちに向けるよ。) / ツラガマエガ エー。(面構えがいい。)

かかと(踵) キビス [kibisu] k1、カガト [kagato] k1 例: キビスデ アルクナ、

ツマサキデ アルケ。(かかとで歩くな、つま先で歩け(草履がすり減る。))

かがみ(鏡) カガミ [kajami] k1 例: カガミデ ギラオ ミル。(鏡で自分を見る。)

かき(垣) ヘーガキ [he:gaki] k0、カキ [kaki] h0,k1 例: ダイクサンニ ヘーガキオ ツクッテモロタ。(大工さんに垣を作ってもらった。)

かき(柿) カキ [kaki] k0 例: カキ ツクテモ アーモ ナラン。(柿を作っても甘くない。)

かげ(影) カゲ [kage] k0 例: カゲニ ハイレヨ。(陰に入れよ。)

がけ(崖) ガケ [gake] k1 例: ガケガ クズレテ シモータ。(崖が崩れてしまった。)

かご(籠) カゴ [kago] k0 例: ミズワ カゴデ ハコベンニャ。(水は籠では運べない。)

かさ(傘) カサ [kasa] h0 例: カサト カッパオ モッテ イケヨ。(傘とカッパを持って行けよ。)

かす(粕) カス [kasu] h0 例: サケノ カスデ アマザケデモ ツクロカ。シャー ショ シャー ショ ソラ ンマイ。(酒の粕で甘酒でも作ろうか。そうしようそうしよう、それはうまい。)

かぜ(風) カゼ [kaze] k0 例: キョーワ カゼガ ヒドイニャー。(今日は風がひどいな。)

かぞく(家族) イエノシュウ [ienocuu:] k0+h0 例: アシコノ イエノシュウワ ナンニンモ オル。(あそこの家族は何人もいる。)

かた(肩) カタ [kata] h0 例: カタガ コル。(肩がこる。)

かたち(形) カタチ [katatei] k0

かたつむり(蝸牛) デンデンムシ [dendemmu:]、カタツブリ [katatsuburi] 例: カタツブリガ デカイコト オルニャー。(蝸牛がたくさんいるな。)

かたな(刀) カタナ [katana] k1 例: コノ カタナオ ワエニ ヤル。(この刀をお前にやる。)

かたみわけ(形見分け) ショーバキ [eo:baki] k4 例: ショーバキ シタイカ。(形見分けしたか。)

かつお(鰹) カツオ [katθuo] k0

かど(角) カド [kado] h0 例: ツクエノ カド。(机の角。) / トーフヤノ カドオ マーレ。(豆腐屋の角を曲がれ。)

かに(蟹) ガンドミ [gandomi ~ gandomi:]、ガンドメ [gandome] h0 例: チーシャ ガンドミ。(小さい蟹。) / ガンドミ ハサミ アル。(蟹は鉋がある。)【備考: 昔話の結句で「ソーライキリノ ガンドメノ アシ」という言い方がある。】

かね(金) ジェン [zen]、ゼン [zen~ðen] h0 例: ギラ ジェンガ ナイヤ。(私はお金がない。) / ジェン クレ。(お金をくれ。)

かねもち(金持ち) オヤケ [ojake] h0

かび(黴) カビ [kabi] k0 例:カビササンヨーニ ミズン ナカ イレチヨイタラ ヨ  
イヤナイヤカ。シャーナ ジャマクサイ コト デケン。(カビさせないように水の中に入れて  
いたらいいんじゃないか。そんな面倒なことはできない。) / コノモチ カビトッタヤ  
ロ。(この餅かびていただろう。)

かぶ(株) カブター [kabuta:] h0、カブタ [kabuta]、キリカブ [kirikabu] k0、  
カブ [kabu] k0 例:キノ カブター ネマル。(木の株に腰掛ける。) / キノ カブ。  
(切り株。)

かぶ(蕪) カブラ [kabura] h0 例:カブラ ニテ オイテキタ。(蕪を煮て、置いて  
きた。)【備考:報恩講の際の汁は、たいてい蕪の汁。蕪と里芋となめこを入れた汁をたくさ  
ん作る。】

かぼちゃ(南瓜) ナンキン [nan'kin] k0 例:コリヤ ンマイ ナンキンジャー。(こ  
れは美味しいカボチャだな。)

かま(釜) カマ [kama] k0、ハガマ [hagama] k1 k0 例:カマデ オユオ ワ  
カッション。 (釜でお湯を沸かしている。) / ハガマデ オユオ ワカッション。(釜でお湯を  
沸かしている。)

かま(窯) カマ [kama] k0 例:カマニ タキモン イレテクレ。(かまに薪をいれて  
くれ。) / カマニ タキモン キベル。(かまに薪をくべる。)

かま(鎌) カマ [kama] h0 例:ワリヤ カマノ ツカイカタガ ヘタヤニャー。(お  
前は鎌の使い方がへたくそだ。)

かまきり(蟻螂) カマキリ [kamak'iri] h0 例:コノ ヘンニ カマキリガ オラン  
ワイ。(この辺にかまきりがいないよ。)

かまくら マンポ [mampo]、マンブ [mambu] 例:マンポ ハイッテ アソブ。(かま  
くらに入って遊ぶ。) / マンポ ホッテ アスバンナン。(かまくらを掘って遊ばない?)【備  
考:トンネルのような掘ったものもマンブと呼んだ。】

かみ(紙) カミ [kami] 例:ムカシワニャ カミオ スイチョッタヤト。(昔は紙をすい  
ていたらしい。)

かみ(上・地形) オク [oku] k0、カミノホー [kam'inoho:]、オク [oku] 例:  
ワリヤ オクノホー イケ。ギラ ウラノホー イクワイ。(お前上のほうに行け。私は下の  
ほうに行くよ。) / オクノ ヒト。(上の人。)  
【備考:オクとカミはともに山の方を指す。】

かみなり(雷) カミ [kami] k1、カミナリ [kaminari] k0、カミナリサマ [kaminari'sama]  
k0 例:カミナリサマ ナッタゾヤ。(雷が鳴ったよ。)

かみなりがなるあれもよう(雷が鳴る荒れ模様) カミナリゴチ [kaminari'otci] k0  
例:ヨンベワ カミナリゴチデ デカイ フリヤッタ。(夕べは雷が鳴る荒れ模様でたくさん  
雨が降った。)

かみのけ(髪の毛) カシラノケ [kaciranoke] h0+k1 例:カシラノケガ ノビタヤナ



イコ。サンパツデモ シテコイ。(髪の毛が伸びたじゃないか、散髪でもしてこい。)

かめ(亀) カメ [kame] k1 例: カメワ シラミネニ オラン。(亀は白峰にいない。)

かめ(瓶) カメ [kame] k1 例: ムカシャー ミズモ アブラモ カメニ タメチョツタ。(昔は水も油も瓶に貯めていた。)

かもしか ニクメ [nikume] k1、ハズクイ [hazukui] 例: キョー ニクメ オツタ。(今日、カモシカがいた。)**【備考: ハズクイは、元は枝わかれの意味。】**

かや(茅) カヤ [kaja] h0 例: カヤデ フク。((屋根を)茅で葺く。)/カヤブキ。(茅葺き。)

かゆ(粥) オカイサン [okaisan] h0、カイ [kai] h0 例: オカイサン クーカ。(おかゆ食べるか。)/チーチャ コーラニ オカイサン クワソカ。(子どもたちにおかゆ食べさせるか。)**【備考: 雑炊のこともオカイサンとも言う。】**

かゆい(痒い) カイ [kai~kai] k1、カーイ [ka:i] h2 例: ヤー カイ。(ああ、痒い。)/ヤー セナカガ カーイヤ。(ああ、背中が痒い。)/カーイナル。h0 (痒くなる。)

からい(辛い) カーリヤ [ka:ria] 例: コノ トーガラシワ カーリヤ。(この唐辛子は辛い。)/カーラカッタ。h4 (辛かった。)/カーロテ クエン。(辛くて食べられない。)/カーラナル、カーロナル。h0 (辛くなる。)

からす(烏) カラスメ [karasume] h0 例: カラスメワ ワルガシコテ テニャンニャー。(烏は悪賢くてかなわないね。)

からだ(体) カラダ [karada] h0 例: カラダガ ジョーブヤ。(体が丈夫だ。)

かわ(川) カワ [kawa] k1 例: コノヘンノ カワワ アンマレ コーランジャ。(この辺の川はあんまり凍らない。)

かわ(皮) カワ [kawa] k1 例: カワガ ムケル。(皮がむける。)

かわうそ(瀬) カワウソ [kawauθo] h0

かわら(瓦) カワラ [kawara] k1 例: カワラガ オツチョツサカイニ ダイブン カゼガ ツヨカッタヤニャ。(瓦が落ちているから風が強かったに違いない。)

かんざし(簪) カンザシ [kanðaci] h0 例: バーガ カンザシオ クレタ。(おばあさんがかんざしをくれた。)

かんじき カンジキ [kapdziki] k1 例: カンジキ ハイテ アルク。(カンジキを履いて歩く。)/カナカンジキ。(金属製の爪が付いたかんじき。)**【備考: 雪に沈まないようにするもの。クロモジで作ることが多い。鍛冶屋が爪を作った。長靴が普及して使わなくなった。】**

かんしょく(間食) コビリ [kobiri] k1 例: アサギリノ コビリ。(午前中の間食。)/ヒンマカラノ コビリ。(午後の間食。)**【備考: うどんやラーメンなどをとったり、ぼた餅が用意されていたりしたこともあった。用務をお願いした側が用意する場合もある。】**

き

き(木) キー [ki:~ki:] h0 例: キガ カヤツチョル。(木が倒れている。)

きくらげ キクラゲ [kikuraŋe] [h0]

きず(傷) キズ [kizu] [k0] 例: ヤー イタカッタ キズガ シミル。(ああ、痛かった、傷がしみる。)

きせる(煙管) キセロ [kisero~kisero~kisero] [h0] 例: キセロワ ミタコト ナイニャー。(煙管は見たこともない。)

きた(北) キタ [kita] 例: キタワ ドコナヨ。(北はどっちか。) / キタワ ドッテナ。(北はどっちか。)

きたない(汚い) キタニャ [kitana] 例: ワレガ ベーワ ナンチュ キタニャニャ。(お前の着物はとても汚いな。)

きつつき(啄木鳥) テラトトキ [teratotoki] [k4] 例: テラトトキガ キタデ マタ ユキガ フル。(きつつきが来たから、また雪が降る。)

きぬいと(絹糸) キヌイト [kinuito] [h0] 例: キヌイトデ スー。(絹糸で縫う。)

きね(杵) キネ [kine] [h0] 例: キネデ ユビオ ツブシテ シモタ。(杵で指を打ってしまった。)

きのいっしゅ(木の一種) リョーボ [ryo:bo] [h0] 例: リョーボヤシ コノヘンワ ジメンガ エーサカイ アラハタ コッシャエヨーカ。(リョーボだし、この辺は地面がいいから、焼き畑をしようか。)【備考: 背の高くならない地面に這って生える木。リョーボの生えるようなところをムツシワラと呼ぶ。】

きのう(昨日) キンノ [kinno] [k1]、キンニョ [kinpo] [k1] 例: ウチノ ジーサワ キンノカラ ネチョル。(うちのおじいちゃんは昨日から寝ている。)

きのきりだし(木の切り出し) ハルクヤマ [harukijama~harukijama] [h0] 例: ハルクヤマガ ハジマッタ。(ハルクヤマが始まった。)【備考: 夏のうちに杉の木を伐って積んでおき、2月の終わりごろに、固くなった雪の上に道を作って、そりで木を運ぶこと。正式には2月15日の小正月から始める。1~2か月間、山に泊まり込む。秋のうちに食糧を運んでおく。一人、一日、一升ほどのお米を準備した。】

きのこ(茸) コケ [koke~koke] [k1] 例: アノ コケワ ドクヤサカイ トツテクンナ。(あのキノコは毒だから採って来るな。) / コケトリ。(茸採り。) / コケトリ シタ。(茸採りをした。)

きのこ・たべられないきのこ(茸・食べられない茸) ドスゴケ [dosugoke] [h2]、ドクゴケ [dokugoke] [h2] 例: ドスゴケワ クエンゾー。テケンナルゾー。(ドスゴケは食べられないよ。お腹を壊すよ。)

きのこのいっしゅ(茸の一種・杉の木に生える真っ白い茸) スミミ [sumijimi~sumimi]、スギミミ [sugimimi] [k0] 【備考: 杉の木に生える真っ白い茸。美味。】

きのこのいっしゅ(茸の一種・橙色の味の良い茸) マスゴケ [masugoke] [k0] 【備考: 橙色の(赤い)茸。遠くからでもよく見える。どんな木でも生える。香りがよく、おい

しい。あまりたくさんは生えない。】

きのこのいっしゅ（茸の一種・土に生えるなめこに似ている） イキフリ [ikiɸuri]

h2 【備考：土に生える（地面の下に木の腐ったのがあるとそこに生える）。なめこのような形。美味。あまり見られない。】

きのこのいっしゅ（茸の一種・どんな木でも少し腐ったのに生える） モチハシ

[moteihaci] 【備考：どんな木でも少し腐ったのに生える。昔はよく食べたが、最近はあまり食べない。】

きのこのいっしゅ（茸の一種・ブナの木腐ったのに生える） シロゴケ [sironoke]

h0 【備考：天然のものと栽培して作るものがある。ぶなの木の腐ったのに生える。美味。】

きも（肝） キモ [kimo] k1

きもの（着物） ベー [be:] k1 例：ケッコーナ ベー キタニャー ベー。（きれいな着物、汚い着物。）／アシコノ コーワ ケッコナ ベー キチョルニャー。（あそこの子は綺麗な着物を着ているな。）

きゃはん（脚絆） キャハン [k'ahan] k1 、チャハン [t'ahan] k1 、マツキャハン [makk'ahan] k4

きゅう（灸） ヤイト [jaito] k2 例：ヤイト シツゾ。（灸をするぞ（子供の頃しかられるときに言われた）。）

きゅうす（急須） キュース [k'ju:su] h0 、キビシヨ [k'ibisio] 例：キュースワ ギラワ ツクレンニャ。（急須は自分では作れないだろう。）

きゅうそく（休息） イップク [ippukw] 例：イップク ショーカ。（一休みしようか。）

きゅうにん（九人） クニン [kuɲin] k0

きゅうり（胡瓜） ウリ [uri] k1 、キューリ [k'ju:ri] k1 例：ウリガ ナッタ。（胡瓜がなった。）／ウリバタ。（きゅうり畑。）

きょう（今日） キョー [kjo:] h0 例：キョーカラ マイニチ ホンオ ヨモ。（今日から毎日本を読もう。）

きょうだい（兄弟） キョーダイシュー [kjo:daieu:] h0

きょねん（去年） コツゾ [kodzo~kozzo] 0 例：コツゾワ アンマレ モーケガ ナカッタ。（去年はあんまり儲けがなかった。）

きり（錐） キリ [kiri] h0 例：コノ キリデ アナオ アケツジャ。（この錐で穴をあける。）

きり（霧） キリ [kiri] k0 例：キョーワ キリン ナッタニャー。（今日は霧になったな。）

きんぞく（金属） カネ [kane] k0

く

くき（茎） クキ [kwki] k1 例：クキガ オレタ。（茎が折れた。）

- くぎ（釘） クギ [kuŋi] k0 例：クギヲ ツカワント クンデミー。（釘を使わずに、組んでみる。）
- くさ（草） クサ [kuθa] k1 例：クサガ ヨー ハエチョル。（草がよく生えている。）
- くさり（鎖） クサリ [kʌsari] k0 例：クサリガ ムスバツテ トレナイ。（鎖がからまってとれない。）
- くし（櫛） クシ [kʌci] k1 例：クシノ ハガ オレタ。（櫛の歯が折れた。）
- くじら（鯨） クジラ [kudzira] h0
- くすり（薬） クスリ [kʌsuuri] h0 例：イシャ イッタラ クスリ クレタ。（医者に行ったら薬をくれた。）
- くそ（糞） バー [ba:] k1 例：バー コイチョル。（くそをしている。）／クマガ バー コイテ アッタ。（熊がくそをして、そのくそがある。）【備考：バーは柔らかく、大きな、手に持てないもの。それ以外はクソ。】
- くだもの（果物） クダモン [kudamon] 例：クダモンワ ヤマナシガ ンマイゾ。（果物はヤマナシがおいしいよ。）【備考：桑の実、栗、ヤマナシ、ヤマブドウなどが昔はあった。】
- くち（口） クチ [kutei] k0 例：クチ アケテ ネット モノ イレルゾ。（口を開けて寝るとものを入れるぞ。）
- くちびる（唇） クチベラ [kuteibera] h0 例：クチベラガ カワイテ シタデ ナメトル。（唇が乾いて舌でなめている。）
- くび（首） クビ [kubi] k0 例：クビガ イーチャ。（首が痛い。）
- くま（熊） クマメ [kumame] k1 例：アシコエ イッタラ デーカイ クマメ オッタガニャー。（あそこに行ったら大きな熊がいたけどね。）
- くまで（熊手） ビビラ [bʲibira ~ bibira] h0、ゴマタ [gomata]、クマデ [kumade]、コバザラエ [kobadōrae] k4、コバザライ [kobadōrai]、コマザライ [komazarai]  
例：ビビラデ ゴミ サラエル。（熊手でゴミを集める。）／コバザラエデ ゴミ アツメル。（熊手でゴミを集める。）【備考：ビビラは竹製で柄が長い。ゴマタは金属製で、畑でゴミを集めるのに使う。コマザライは焼き畑の後に豆をまき、その上に土をかぶせる時に使う。】
- くも（雲） クモ [kumo] k1 例：クモガ デカイコト デタニャ。（雲がたくさん出たな。）
- くも（蜘蛛） クボメ [kubome] h0 例：ギラワ クボメワ スカンジャ。（私は蜘蛛は嫌いだ。）／クボメガ スーオ ハツテワイ。（蜘蛛が巣を作っている。）
- くものす（蜘蛛の巣） クボメノス [kubomenosu] h0+k0
- くり（栗） クリ [kuri] k1 例：クリヒロイ シロ。（栗拾いをしろ。）／アッコ イッテ クリ ヒローテ コイ。（あそこへ行って栗を拾ってこい。）【備考：クリタマという虫がきて、ほとんど切ってしまった。栗の木は材木として高く売れた。】
- くるぶし（踝） クルブシ [kurubuei] h0 例：ウチクルブシワ ノミニモ クワレル

ナ。(内側のくるぶしはのみにも喰われてはいけない(大切にせよ。))【備考：内側のくるぶしの傷は治りにくいとされる。】

くるみ(胡桃) クルビ [kurubi] h0 例：クルビアエ ショー。(くるみ和えをしよう。)  
／クルビワリ ショー。(くるみ割りをしよう。)  
【備考：拾ってきて乾かしておき、殻を割って実を取り出す。水に濡らしてフライパンなどで炒って殻を割ると、実と殻が混ざらなくてよい。すり鉢で実をすって和え物にする。シロゴケや人参をくるみで和えるとおいしい。報恩講の御膳で和え物に使うが、普段はあまり食べない。】

くわ(桑) クワ [kuwa ~ kʷa:] k0 例：クワーコキ セー。(桑こき(桑の木から葉をとること)をしろ。)  
／クワラ。(桑林。)

くわ(鋏) クワ [kʷa ~ kuwa] k0 例：コノ クワオ ツカエッチャカ。(この鋏を使えるか。)

くわのみ(桑の実) ズバメ [dzubame] h0、ズマメ [dzumame] 例：ズバメ クタヤロー。ソナモン クワン。(桑の実を食べたろう。そんなもの食べない。)  
／ズマメ ムイデ クオー。(桑の実を剥いて食べよう。)  
【備考：小さな赤い粒が固まっているような、金平糖が少し大きくなったような見目の実。熟して紫色になったら食べ頃。食べると口の周りが赤黒くなる。美味。】

くわばたけ(桑畑) クワラ [kʷa:ra ~ kuwara ~ kuwara] h0、クワバタ [kuwabata] k0 例：アコノ クワラエ クワ コキニ イッテ コイ。(あそこの桑畑に桑の葉採りに行って来い。)  
／キョーワ カイコニ クワサンナンサカイニ クワバタニ トリニ イッテコンナンニャー。(今日は蚕に食べさせないといけないから、桑畑に採りに行ってこないといけないね。)

## け

け(毛) ケー [ke:] k1 例：ノクトソーニ デカイコト ケー ハヤシテ。(暖かそうにたくさん毛を生やして。)

けが(怪我) ケガ [keŋa] k1、アヤマチ [ajamatei] h2 例：ワレワ イッツモ ケガ シチョルモンジャニャー。(おまえはいつもけがをしているものだなあ。)  
／アヤマチ シンナ。(怪我するな。)

げすいようのかわ(下水用の川) ミンジャジリ [m'ipdzadziri]、タンニャ [tappa] h0 例：タンニャガ キタニャー ニオイガ シテ テニャンニャー。(タンニャが汚い臭いがして、どうしようもないなあ。)  
【備考：ミンジャの終わりのところをミンジャジリという。ミンジャはきれいな水で、ミンジャジリは排水など。オシメなど洗ってもいい。最後の家を越えたところで、ミンジャジリになる。】

げすいをながすところ(下水を流すところ) タンニャジリ [tappaziri] 【備考：下水路のこと。ミンジャ(上水)とタンニャ(下水)のような区別だった。】

げた(下駄) ゲタ [geta] h0 例：ゲタ ハイテ コイヨ。(下駄はいて来いよ。)

けむり (煙) ケブリ [keburɪ] k0 例: ケブリガ メニ ハイッテワイ。(煙が目に入った。)

けんか (喧嘩) イシャカ [icaka] k0、イサカ [isaka ~ iθaka] 例: イサカシテ テニ  
ヤン。(喧嘩して手におえない。)

こ

こうがん (鞞丸) キンタマ [kintama] k1 例: キンタマオ ウツト イーチャ。(金玉  
を打つと痛い。)

こうじ (麴) コージ [ko:ɕi] k0 例: コージッテ ジャーシテ ツクンナ。(麴ってど  
うやってつくるの?)

こうもん (肛門) コーモン [ko:mon] h0 例: コーモンガ カイ。(肛門がかゆい。)

こえ (声) コエ [koe] k1 例: コエガ ニル。(声が似る。)

こおり (氷) シミ [ɕimi ~ θimi] k1 例: シミガ トケタ。(氷が溶けた。)

こおる (凍る) シミル [ɕimɪru ~ ɕimiru] k1 例: ミチガ シミチョッテ スベッサカ  
イ ヨージン セーヤ。(道が氷っていて滑るから、用心しろよ。) / ツケモンガ シミル。  
(漬物が凍る。) / シミタ。(凍った。) / アッコモ ココモ シミチョル。(あそこもここも  
凍っている。) / シミツ。(凍るよ。)

こおろぎ (蟋蟀) コーロギ [ko:roŋi] k1、コーロメ [ko:rome]

こがたな (小刀) コガタナ [koŋatana] h0 例: コノ コガタナワ アンマリ キレン  
ニャー。(この小刀はあまり切れない。)

ここ ココ [koko] k0 例: ココ ドコナ。(ここはどこか。)

ごご (午後) ヒンマカラ [ɕimmakara] h0

ごごえる (凍える) カンジル [kanziru] k0、ガンジル [ganziru]

ここのつ (九つ) ココノツ [kokonotsu] h2

ごごみ クグミ [kuŋumi] k1 【備考: 報恩講に使う山菜(ぜんまい、わらび、ふき、う  
ど、ごごみ)の中の一つ。塩漬けにする。ヤブソテツ。】

ござ (莫蔭) ゴザ [goza] k1 例: ギラ ゴザオ アンダ コトガ アル。(私はゴザを  
編んだことがある。)

こさく (小作) ジナゴ [ɕinaŋo] h0, k0

ござぼうし (莫蔭ぼうし) ゴザボシ [gozaboci] h0, k0 例: アメガ フルシ ゴザボ  
シ キー。(雨が降るから莫蔭ぼうしを着なさい。)

こし (腰) コシ [koci] k0 例: コシガ イーチャ。(腰が痛い。)

こずえ (梢) シバ [θiba ~ eiba] h0、キーノトンボ [ki-no tombo]、キーノアタ  
マ [ki-no atama] 例: シバエ トリガ トマッコル。(梢に鳥がとまっている。) / キー  
ノアタマエ トリガ トマッコル。(木の先端(梢)に鳥がとまっている。)

ごぜん (午前) ヒンママエ [ɕimmamae] h4

ことし（今年） コトシ [kotoci] k0 例：コトシワ デカイコト ジェンガ ハイリャ  
エーニャ。（今年はたくさんお金が入るといいな。）

ことば（言葉） コトバ [kotoba] k1

こども（子供） ンナ [nna] h0 、コ [ko] 例：ンナサマワ ゲンキデ ゴザルカ。  
（お子さんは元気でいらっしゃいますか。）／コガ デキタ。（子供ができた。）【備考：特に、  
末っ子のことをンナやンナボーと言う。】

ごにん（五人） ゴニン [gojin] k0

ごはん（ご飯） ママ [mama] h0 例：ヤー ハラ ヘッタヤー。 ママ クオーカ。  
（いやー、お腹すいたなあ。ごはん食べようか。）

ごはん・ほとけさまにそなえるごはん（ご飯・仏様に供えるご飯） オボキサマ  
[obokisama] h0 【備考：お寺の御本尊の前に毎朝（自分たちが食べる前に）供えていた  
米だけの御飯（シロママ）。人々が麦や稗入りの御飯を食べていた時代でも米だけの御飯を供  
えていた。】

こぶし タブシカ [tabucika]

こぶし（拳） コブシ [kobuci] k0 、ニギリコブシ [nijirikobuci] h4 例：コブシ  
デ ウッタラ コブシ イタメタ。（拳で打ったら拳を痛めた。）

ごぼう（牛蒡） ゴンボ [gombo] h0 例：ウサギニワ ゴンボ クマノ ニクニワ ア  
ザミ。（兎（の肉）にはごぼう、熊の肉にはあざみ（がよい。）／ウサギジルニ ゴンボ イ  
レット ンマイヤ。（兎汁にごぼうを入れるとおいしいよ。）

ごま（胡麻） ゴマ [goma] h0

こめ（米） コメ [kome] k1 例：コメノ ママワ ンマイ。（米の飯はうまい。）／シロ  
ママ クイチャ。（米だけのご飯を食べたい。）【備考：白峰は田んぼが少なく米が貴重だった。  
白米はまず仏様に供え、病人がいる場合は病人に食べさせていた。】

こめいれ（米入れ） ハンマイバコ [hammaibako] h5 、コメビツ [komebitsu] h0

こめだけのごはん（米だけのご飯） シロゴハン [ciroŋohan] h0 、シロママ [ciromama]  
h0 例：キョーワ マツリヤシ シロママ ニテ クオーカ。（今日は祭りだし、シロママを  
炊いて食べようか。）

こめぬか（米糠） コンカ [konka] k0 例：コンカガ タマッテ テニャン。（米ぬかが  
たまって困る。）

こよみ（暦） コヨミ [kojomi]、ヒメクリ [çimekurii] h0 例：ムカシノ コヨミノ ホ  
ーガ ヨイニャー。（昔の暦のほうがいいな。）【備考：ヒメクリは富山の薬屋が持ってきた。】

ごり（鮎） イシブシ [icibuci]、ゴリ [gori] h0 、ゴッチョブシ [gotteobuci] h3

【備考：最近はいなくなった。軽く焼いたり、ネギと煮たりして食べた。】

これ コイ [koi] h0 例：コイ ナンナ。（これ、なに。）

さ

- さいづち（才槌） シャーズチ [ca:d̥ɯteɪ~ca:zuɾteɪ] [k0, h0]、シヤズチ [cazuɾteɪ] 例：  
クイ ウツヤサカイ シャーズチ モッテ コイ。（杭を打つのであるから、小槌を持って来い。）  
【備考：小さな槌。小槌・手槌にあたるもの。小さな杭を打つのに使う。】
- さお（竿） サオ [sao] [k1] 例：コノ サオワ ギラ ツクッタ。（この竿は自分で作った。）
- さか（坂） サカ [saka] [k1] 例：コノ サカ アガルワ コワイゾ。（この坂を上るのはきついよ。）
- さかな（魚） サカナ [θakana] [k0]
- さかながあつまるところ（魚が集まるところ） フチ [ɸuɾteɪ] [h0] 【備考：流れが緩いところ。】
- さかなのかくれば（魚の隠れ場） ジョー [dzo:~zo:] [h0] 例：イオメガ イシナノ ジョーエ ハイッタ。（岩魚が石のかげのかくれ場に入った。）／ジョー ハイッチョル。（魚が隠れ場に入っている。）／ジョーニ ハイットッテ デテコナンダ。（魚が隠れていて出てこなかった。）【備考：イオメ（岩魚）の隠れるところ。】
- さけ（酒） サケ [sake] [k0] 例：ジゲニワ ドエライ サケノミガ デカイコト オッチャ。（白峰にはすごい酒飲みがたくさんいるよ。）
- ざしき（座敷） ザシキ [ðaeiki~dzaeiki] [k1] 例：ザシキデ アスンジョッテ。（座敷で遊んでいて。）
- さつまいも（甘藷） サツマイモ [θatsumaimo~θatθumaimo] [h0] 例：サツマイモ ウエヨカ。（さつまいもを植えようか。）
- さといも（里芋） ズイキイモ [dzuikiimo~d̥ɯiki:mo] [k0] 例：ズイキイモミタイニナル。（里芋のようになる（親子が一緒になる）。）【備考：親芋の横に子芋がつき、両方が食べられることから、こう言われる。】／ズイキイモ ツクッテ ホンコサマノ シルニ ショー。（里芋を作って報恩講の汁にしよう。）【備考：報恩講の際の汁は、たいてい蕪の汁。蕪と里芋となめこを入れた汁をたくさん作る。】
- さとう（砂糖） サト [sato] [h0]、アカザト [akadzato] [h0] 例：モチ クーニ サトガ ホーシニャー。（餅を食べるのに砂糖が欲しいなあ。）／モチ クーヨリ サト ヨケクチョッチャナイコ。（餅を食べるより砂糖をたくさん食べているんじゃないか。）／ジゲワ サトーッテ ユート ムカシワ アカザト ヤッタ。（白峰は砂糖というと昔は赤砂糖だった。）／ギララ クタ サトワ アカザト ヤッタ。（私たちが食べた砂糖は赤砂糖だった。）
- さとうきび（砂糖黍） サトーキビ [sato:kibi] [h2] 例：ジゲデ ヒトヤケダケ サトーキビオ ツクッチョッタ。（白峰で一軒だけさとうきびを作っていた。）
- さなぎ（蛹） ヒョーロー [ço:ro:] [k1]、ヒョーロ [ço:ro]
- さなぎのふたつあるまゆ（蛹の二つある繭） タママユ [tamamaju] [h0]、ワタマユ [watamaju] 例：ワタマユデ ワタブシ ツクル。（ワタマユでワタブシ（防寒具）を作



る。)【備考：これでワタブシを作るほか、布団にも使った。】

さばく(魚をさばく) ジョール [dzo:ru] k1 例：ダイカ コノ イワナ ジョーツテ  
クレンコ。(誰かこのイワナをさばいてくれないか。)

さむい(寒い) サービ [sa:bi] 例：サブカッタ。 h4 (寒かった。) / ヤー サーブ。  
(ああ、寒い。) / サーブ ナッタ。 h0 (寒くなった。) / アシタ マエット サーブ ナッ  
チャロコ。(明日もっと寒くなるのだろうか。)

さら(皿) サラ [sara] k0 例：ヤートロー サラ ワッタノワ ダレヤ。(おっと、皿  
を割ったのは誰だ。) / ヤットロー サラガ ワレチョル。ダレヤ。(おっと、皿が割れてい  
る。誰だ。)

さらいねん(再来年) サライネン [sarainen] h2 例：サライネンワ ニネン アト ヤ  
ニャー。(再来年は二年後だなあ。)

さらしぬの(晒布) サラシヌノ [saracinuno] k4 【備考：さらし布。2月に行う。】

ざる(箒) ザル [zaru~ðaru] k1 例：ザルデ ミズオ キツチャ。(ザルで水を切るよ。)

さんかんぶ(山間部) ヤマ [jama] k1 、ヤマチ [jamatsi] h0 例：ヤマニ ウチ  
アリ シラミネニモ ウチ アル。(山間部に家があり、白峰本村にも家がある。) / ウチニ  
ワ ヤマチガ アル。(うちには山がある。) / ヤマイリ。(出作りに行くこと。) / キョーワ  
ヤマイリヤ。(今日から出作りへ行く。)

さんさいとり(山菜採り) ハゲミ [hagemi~hagemi] k1 、ハゲミトリ [hagemitorji]  
例：ハゲミニ イコ。(山菜採りに行こう。)  
【備考：春と秋に行う。秋はきのこなどをとる。春はぜんまい、うど、ふき、あざみ、わさびなどをとる。あざみは根以外は全部食べる。春はいろいろある。】

さんにん(三人) サンニン [sappin] h0

し

しあさって(明々後日) シアサッテ [eiasatte] h2 例：シアサッテカラ マゴガ ク  
ツチャト。(明々後日から孫がくるらしい。)

しいたけ(椎茸) シータケ [ei:take] k1

しお(塩) シオ [oio~oiwo~cio] k1 例：ナンモナイシ ママニ シオ カケテ クエ  
ヨ。(何もなしご飯に塩かけて食べよ。)

しお(潮) シオ [cio] 例：コレカラ シオガ ヒクニャー。(これから潮が引くなあ。)

しおからい(塩辛い) クドイ [kudoi] k1 、シオクドイ [oiokudoi] h2 例：ホン  
デ クドイヤ。(とても塩辛いなあ。) / キョーノ ニシメ チョット シオクドイヤナイコ。  
(今日の煮しめちょっと塩からいんじゃないか。)

しきもの(敷物・客が来た時にいろいろのオノコジロに敷く) ヘットリ [hettori] 例：  
ヘットリ モッテ キテ シケマ。(敷物を持って来て、敷け。)  
【備考：敷物。客が来たときにオノコジロに敷く。】

- しこくびえ（四国稗） カマシ [kamaei] [h0] 例：カマシイリコ。（四国稗の粉。またはそれを煎ったものをお湯でといたもの。）
- しごと（仕事） シゴト [eiŋoto] [k0] 例：アリヤ ナンノ シゴト シチョンナ。（あの人はなんの仕事をしているのか。）
- じしん（地震） ジシン [dziŋin] [k0] 例：キンノ ジシンガ アッタニヤ。（昨日地震があったね。）
- した（下） シタ [eita] [k0] 例：カバンワ イスノ シタニ オクト ヨイ。（かばんは椅子の下に置くとよい。）
- した（舌） シタ [eita] [k1] 例：シタ カンダ。（舌をかんだ。）
- じなん（次男） オジ [ozi] [k0] 例：オジワ オーサカ イッタヤ。（次男は大阪に行った。）  
【備考：三男以降はコッパオジ。】
- じぬし（地主） オヤッサマ [ojaθama] [k1] 、ジヌシ [dzinuci~dzinuci] [k1] 例：ココン シュハ オヤッサマヤ。（ここの人は地主だ。）／オヤッサマ シテ クレンコ。（お金を貸してくれないか。）
- しば（柴） シバ [eiba] [k0] 、ホイ [hoi] [k1] 例：アソコワ タイヘンナ シバワラ デ アルキニクテ テナン。（あそこはひどい柴原で、歩きようがない。）／アソコワ ドエライ シバワラヤゾヤ。（あそこはひどい柴原だよ。）
- しばをたばねたもの（柴を束ねたもの） ホイ [hoi] [k1] 【備考：組み合わせて土壁の土台にもした。】
- しま（島） シマ [eima] [k1] 例：シマガ メール。（島が見える。）
- じめん（地面） ジメン [dzimen] [k1] 例：アノ ヒトワ ジメンオ ホッチョル。（あの人は地面を掘っている。）
- しも（下・地形） ウラ [ura] [k1] 、シモノホー [simonoho:]、シモ [cimo] [k0] 例：ワレ オク ムイテ イケヨ。ギラ ウラカラ アガッテ クッサカイ。（お前、山の方を向いて行けよ。私は下から上がって来るから。）／シモノ ヒト。（下の人。）【備考：下の方。金沢や鶴来もさす。】
- じもと・しらみね（地元・白峰） ジゲ [dziŋe] [k1] 例：ジゲエ モドッテコイヨ。（地元へ戻ってこいよ。）
- しもやけ（霜焼け） シモヤケ [cimojake] [h0]
- じゃがいも（じゃが芋） カツツキ [kattθukji] [h0] 例：カツツキ ウエヨカ。（じゃが芋を植えようか。）
- しゃみせん（三味線） シャミセン [camisen] [h0] 例：ギラ シャミセン ナロータ コトガ アル。（私は三味線を習ったことがある。）
- しゃもじ（杓文字） シャモジ [camozi] [k1, h0] 、シャクシ [cakuci] [h0] 例：シャモジグライナラ ギラモ ツクレルニヤ。（しゃもじくらいなら自分でも作れそうだ。）

じゅうにん (十人) ジューニン [dzu:pin]

じゅうのう (十能) センパ [θempa] h0、センバ [semba]、ケッテン [kettɛn] 例：  
 センパ モッテコイ。(炬燵に火を移すために) センパを持って来い。) / ジロバタエ セン  
 パ オイチャール。(いろりばたに十能が置いてある。)【備考：いろりの炭を炬燵などに移す  
 のに使う。古いスコップの柄を切ってセンパとして使ったりもした。わざわざ鍛冶屋で作ら  
 せる人もいた。ケッテンは、手のひらほどの大きさでいろりの灰をならすのに使う。】

しょうじ (障子) ショージ [so:zi] k0

しょうじど (障子戸) セド [θedo~cedo] k1 【備考：玄関以外で、家の中で外と接し  
 ているところ。】

じょうぞくまえのかいこ (上簇前の蚕) ハイコ [haiko] k1 例：コイデ ハイコニ  
 ナッデ イソガシ ナルゾ。(これでハイコになるから忙しくなるぞ。) / ハイコザイチ。(家  
 中が蚕だらけの状態。)

しょくじ (食事) ママ [mama] h0

しょじょゆき (処女雪) ホーヤ [ho:ja] k0 例：ダレモ アルカンデ ホーヤヤ。(誰  
 も歩いていなくて、処女雪だ。) / キョーワ ホーヤニ ナットッタ。(今日は処女雪になっ  
 ていた。) / ホーヤヤサカイニ オチコム。(処女雪だから足を取られる。) / キョーワ ホー  
 ヤエ ハイット フーキャサカイニ アワカンジキ カケテイカンナンニャー。(今日は処  
 女雪に入ると深いから、アワカンジキを履いて行かないといけないなあ。)

じよせつ (除雪) イキカキ [iki kak'i]、イツカキ [ikkaki] h3、イキサラエ [iki θaraɛ] h2, k2

じよせつぐ (除雪具) コシキ [kosiki ~ koθik'i ~ kocik'i ~ koθ'ik'i] h0, h2、スコ  
 ッパ [sukoppa] h2、スコ [suko] k1 例：コシキガ ナケリヤ カシテ ヤロコ。  
 (コシキがなければ貸してやろうか。) / ツレアイゴシキ。(杖のかわりについて使うコシキ。)  
 / スコデ ミチ サラエル。(スコで道の除雪をする。)【備考：コシキの材料としてはブナが  
 適している。】

じよせつする (除雪する) サラエル [saraeru] k0、ミチフミ スル [miteiφumisuru]、  
 イキ オロス [iki orosu]、イキ カク [iki kak'u]、イキ サラエル [iki θaraeru] 例：  
 スコデ ミチ サラエル。(スコで道の除雪をする。) / デカイコト フッタサカイニ ミチ  
 フミ センナンゾ。(雪がたくさん降ったからミチフミしないといけないぞ。) / ダイブ タ  
 マッタサカイニ ハヤイコト オロサンナンゾ。(雪がだいぶ溜まったから、早く雪を下ろさ  
 ないといけないぞ。) / イキ カイタ。(屋根の雪を下ろした。) / ゲンカンノ イキ サラエ  
 ーヤー。(玄関の雪かきをしろよ。)【備考：サラエルは「なくならせてしまう」こと。ママ サ  
 ラエテ クテ シマエヤ (ご飯さらえて食べてしまえよ)】

しらが (白髪) シラガ [siraŋa] k1 例：デカイコト シラガガ ハエル ヨー ナッ  
 タナ。(たくさん白髪が生えるようになったな。)

- しらみ (虱) シラメ [eirame] h0 例: シラメガ ワイテワイ。(虱がわいたよ。)
- しらみね (白峰) ジゲ [dziŋe] k1 例: キョーワ ジゲ イッテ コー。(今日は白峰本村に行つて来よう。)
- しり (尻) シリベタ [eiribeta] k2 例: シリベタ タタカレタ。(尻をたたかれた。)
- しる (汁) シル [ciru] h0 例: コノ シルー クドイ。(この汁は塩辛い。)/キョーノ シルワ チョット クドイヤナイコ。(今日の汁はちょっと塩辛いんじゃないか?)
- しるし (印) シルシ [eiruci] k0 例: ソコエ シルシオ ツケヨ。(ここにしるしを付けなさい。)
- しろい (白い) シロイ [eiroi] k1 例: カオガ シロイニャー。(顔が白いな。) シーロナル。 h0 (白くなる。)
- しんしつ (寢室) ネドコ [nedoko] k1, h0 例: ネドコ イッチョレ。(客が来たときに子供に対して) 寝間に行っている。【備考: 寝るところ。こたつがある。】
- しんせき (親戚) オヤコ [ojako] k1、オヤコシュー [ojakocu:] 例: アシコトワ オヤコニ ナル。(あそこの家とは親戚になる。)
- しんちくいわいのうた (新築祝いの歌) メデタ [medeta] h0、ドッコイショ [dokkoico]、セーレー [θe:re:~ce:re:] 【備考: メデタを最初に歌い、後々、ドッコイショを歌う。メデタのことをセーレーと言う。】
- しんちくのいえにはじめてはいること (新築の家に初めて入ること) ワタマシ [watamaei] h0 【備考: 昔は初めてなにか (墓、家、仏壇、自動車など) を使用する場  
合、お祝いをした。】
- す
- す (巢) スー [su:] k0 例: キーノ ウエニ スーオ コシラエチョル。(木の上に巢を作っている。)
- すいか (西瓜) スイカ [suika] h0
- すいば スイコ [suiko]、スイコンボ [suikombo]、スイスイゴンボ [suisuigombo] k1+h0  
例: スイコワ アンマリ クワナンダ。(すいばはあまり食べなかった。)
- すえっこ (末っ子) ンナボ [nnabo] h0、ナンボ [nambo]、ネンネー [nenne:] 例: コノ コ ネンネーヤワイ。(この子は末っ子だ。)【備考: ンナボは、男の末っ子のことを言う。ネンネーは女の末っ子のことを言う。】
- すき (好き) スキ [suki] k1 例: ギラ ワイオ スキヤ。(私はあなたが好きだ。)
- すぎ (杉) スギノキ [suŋjinoki] k2 例: スギノキキリ ショー。(杉の木切りをしよう。)/ムカシワ スギカワデ ヤネ フイタ。(昔は杉の皮で屋根をふいた。)
- すき (鋤・牛にひかす鋤) スキ [suki] k0、マンノ [manno] 例: ウシメニ スキオ ヒカセテ タオ カイタ。(牛に鋤を引かせて田を耕した。)
- すこし チョビント [teobinto] h3、チョコット [teokotto] h3 例: チョビント サー

ビニャ。(ちょっと寒いな。)

すじ(筋) スジ [suzi] h0 例: スジガ チゴーチョッタラシー。(筋をひねってしまったみたいだ。)

すす(煤) スス [susu] h0 例: アシコニ ススガ タカッチョルニャー。(あそこに煤がついている。)

すすき(薄) ススキ [θuθukʲi] k0、カヤ [kaja] h0

すずめ(雀) スズメ [suzume] h0 例: スズメガ ナイチョル。(雀が鳴いている。)

すそ(裾) スソ [suso] k0 例: スソ ヨゴスナ。(裾汚すな。)/スソガ サガッチョッテ メンドナ。(裾が下がっていてみっともない。)

すな(砂) スナ [suna] k1 例: スナ モッテコイヤ。(砂を持ってこい。)

すね(脛) ムコッポ [mukoppo] k0 例: ムコッポ ウッテ イタカッタ。(脛を打って痛かった。)/ムコッポ シンナ。(むこうずねを打ってけがをするな。)

すねあて(脛当て) ハバキ [habaki] h0 例: ハバキ ハケヨ。(脛当て(ハバキ)をつけろよ。)  
【備考: 冬にゲートルの代わりに着用。ガマで作った。】

すべりやすい(滑りやすい) スベラコイ [suberakoi~ciberakoi] h2 例: キョーワ シミテ スベラコイニャー。(今日は氷って滑りやすそうだ。)/スベラコーテ。(滑りやすくて。)

すもう(相撲) スモ [sumo] k0 例: キョーワ スモノ ケーコ。(今日は相撲の稽古。)

【備考: 八坂神社の「放楽相撲」(ほうらくずもう)がある。】

すもも スモモ [sumomo] h0

すっぱい(酸っぱい) スーイ [su:i] k1 例: スーナル。 h0 (酸っぱくなる。)

## せ

せいねん(青年) セーネン [se:nen] h0、ワーキャシューラ [wa:kʲa cu:ra] k1+h0  
例: セーネンダン。(青年団。)

せき(咳) セキ [seki] k1、ガイキ [gaiki] h0 例: ガイキガ デテ モー テヤン。(咳が出てどうにもならない。)

せきれい(鶺鴒) シリフリ [sirifuri] h3 例: シリフリノ スーガ アッタ。(草を刈っていたら)せきれいの巣があった。)

せたいぬし(世帯主) ゴテー [gote:] k1 例: コノ ヒトガ イエノ ゴテーヤワイ。  
(この人が世帯主だ。)

せたけ(背丈) タケ [take] k1 例: タケガ ナーギヤ。(背が高い。)

せなか(背中) セナカ [senaka] h0 例: セナカニ ヌツテクレンカ。(背中に塗ってくれないか。)

せみ(蟬) セミ [semi] k1、ミンミンサマ [mimmimsama] h0 例: セミガ デカイコト ナイチョル。(蟬がたくさん鳴いている。)  
【備考: ミンミンサマの鳴き声によって、ト

ーキビ(とうもろこし)の収穫時期などの時節を知ったという。】

ぜん(膳) オゼン [odzeŋ] h0 例: オゼン モッテ コイ。(お膳をもってこい。) / オ  
ブツジャサカイ オゼン モッテ イカンナン。(お仏事だから、お膳もっていかないと。)

せんたん(先端) トンボ [tombo] h0 例: キノ トンボ。(木の先端。)【備考: 木など  
の先。】

ぜんまい(薇) ゼンミヤ [dzemmja]、ゼンミヤー [dzemmja:] h2 例: キョーワ ゼ  
ンミヤーウリ ショー。(今日はぜんまい売りをしよう。)【備考: 雪の季節の後、一番最初に出る  
山菜の一つ。報恩講の際にも使う。】

## そ

ぞうすい(雑炊) ミソシル [misociru] h3 例: ケサワ ミソシルニ モチ イレテ ク  
テキタ。ンマカッタ。(今朝は雑炊に餅入れて食ってきた。うまかった。)

そうねんしゅう(壮年衆) トッサシュー [tossasu:] h3

ぞうり(草履) ジョーリ [dzo:ri] h0 例: ジョーリノ ハナオガ キレタ。(草履の鼻  
緒が切れた。)

ぞうり・はんぶんのぞうり(草履・半分の草履) ベットメジョーリ [bettomedzo:ri] h5、  
アシナカ [acinaka] h0 【備考: 結び目が蛙(ベットメ)の目のように飛び出し  
ている草履のこと。】

そこ ソコ [soko] 例: ソコ イクノ ダイナ。(そこに行くのはだれか。)

そこ(底) ソコ [soko] h0 例: ミズノ ソコカラ アワガ デチョル。(水の底から泡  
が出ている。)

そで(袖) ソデ [sode] k0 例: ソデデ ハナ フクナ。シャーナ キタニヤ コト シ  
ンナ。(袖で鼻ふくな。そんなに汚いことするな。)

そてつ(蘇鉄) ソテツ [sotetθu] h0

そと(外) ソト [soto] h0 例: キョーワ ソトニ デンナ。(今日は外に出るな。)

そとがまえのと(外構えの戸) イタド [itado] h2、マクリド [makurido] 例:  
イタド アケマ。(板戸を開けろ。)  
【備考: 戸袋のある組み戸のこと。】

そば(傍) ソバ [soba] h0 例: ミセワ ヤクバノ ソバニ アルヨ。(店は役場のそば  
にあるよ。)

そら(空) テン [ten] 例: テンガ アーコ ナッチョル。(空が赤くなっている。) / テ  
ンガ マッサオヤ。(空が真っ青だ。)

そり(櫓) ソーレ [so:re] h0、ソーリ [so:ri]

そり(櫓・木材運搬用) テゾーレ [tedōo:re~tedōo:rɛ]、ソーレ [θo:re] h0、テゾ  
リ [tezori] 例: テゾーレ ツカエ。(そりを使え。) / ソーレ ツカエ。(そりを使え。)  
【備考: 雪の上で木を運ぶのに使うそり。Y字の取っ手がある。】

それ ソイ [soi] h0 例: ソイワ ギラノヤ。(それは私のだ。)

た

だいく（大工） **ダイク** [daiku] 例：ダイクガ ハイッタニャー。（大工が入ったね。）

たいこ（太鼓） **タイコ** [taiko] 例：タイコ タタキナガラ オドッチョルニャー。（太鼓を叩きながら踊っているね。）

だいこん（大根） **ダイコン** [daikon]、**ダイコ** [daiko] **h0** 例：ダイコンタネ マク。

（大根の種を撒く。）／ナナギダイコンワ アモテ ンマイ。（焼畑で作った大根は甘くて美味しい。）／ダイコノ タネマキ。（大根の種まき。）

だいどころ（台所） **ナガシ** [nagaeci] **k1** 例：ナガシワ ドコヤ。（台所はどこだ。）

たいまつ（松明） **タイマツ** [taimatsu] **k1** 例：タイマツオ ダイジニ モッチョッタ。

（松明を大事に持っていた。）

たいよう（太陽） **ヒーサマ** [çi:sama] 例：ヒーサマ アガラッシャッタ。（日が上がった。）

／ココワ ヒーサマ ヨー ゴザルワ。（ここは日当たりが良い。）

たか（鷹） **タカ** [taka] 例：タカガ ネズメオ クワエテ イッタワイ。（鷹がネズミを

くわえていったよ。）

たからもの（宝物） **タカラモン** [takaramon]

たきぎ（薪） **タキモン** [takimon] **h0** 例：タキモンガ タランジャナイコ。（薪が足り

なくなるんじゃないか。）

たくさん **デカイコト** [dekaikoto] 例：デカイコト サケオ ノム。（たくさん酒を飲む。）

／デカイコト モツテコイ。（たくさん持って来い。）

たけ（竹） **タケ** [take] **k0** 例：シラミネニワ タケバラワ ナイ。（白峰には竹林がない。）

い。）

たこ（凧） **タコ** [tako] **h0**

たこ（蛸） **タコ** [tako] **k1** 例：タコワ メッタト クワンサカイネ。（タコはめったに

食べないからね。）

だっこく（脱穀） **ホーオトシ** [ho:otoci]、**ホーガチ** [ho:gateci] **h0** 例：コレカラ ホー

ーガチショー。（これから脱穀しよう。）【備考：稗や粟の穂から実を離すこと。ホートリの後、

乾かしてから行う。臼に入れて杵で叩くこともあれば、箆を敷いて複数人で叩くことも。ホ

（穂）を カツ（打つ）ということ。】

たつまき（竜巻） **タツマキ** [tatsumaki] 例：コノヘンワ タツマキガ オコランジャ

ワイ。（この辺りは竜巻が起こらないよ。）

たてがみ **タテガミ** [tategami] **h0**

たな（棚） **タナ** [tana] **k0** 例：タナカラ ホンオ トツテクレンコ。（棚から本を取っ

てくれないか。）

たに（谷） **タニ** [tani] **k1**、**タンニャ** [tappa]、**ノマ** [noma] **k1** 例：アコノ タ

ニ サンサイ トリニ イッテ コイ。（あそこの谷に山菜を採りに行って来い。）／アコノ

タンニャ イッテ コー。(あそこの谷に行って来よう。)

たに・みずのないたに(谷・水のない谷) ノマ [noma] [k1] 例:アコノ ノマ イッ  
テ ミテ コイヨ。(あそこの(水のない)谷へ行って、見て来いよ。)

たね(種) タネ [tane] [h0] 例:タネ マイテ ナエニ ツクッテ ソイテ ウエンナ  
ラン。(種をまいて、苗に作って、そして植えなければならない。)

たび(足袋) タビ [tabi] [h0] 例:タビ ハイチョルコ。ハイチョラン。(足袋はいてい  
るか?はいてない。) / タビ ハケ。イマ ハイチョル。(足袋はけ。今はいてるとこ。)

たべもの(食べ物) タベモノ [tabemono]、クーモン [ku:mo] [h0] 例:タベモノワ ダ  
イジニ センナンゾ。(食べ物は大事にしないといけないよ。)

たべる(食べる) クー [ku:] [h0] 例:コイ クテ ミタケット ンマイ モンジャニャ  
ー。(これ食べてみたけど、うまいもんだな。) / ココノ チーシャ コーラ ヨー クー  
ニャー。(ここの子供たちはよく食べるなあ。)

たまご(卵) タマゴ [tamago] 例:アシコノ ウチワ タマゴオ ウッチョッチャゾ。  
(あそこの家は卵を売っているよ。)

たましい(魂) タマシー [tamaci:]

たらい(盥) タライ [tarai] [k0] 例:タライニ ミズオ クンジョル。(たらいに水を汲  
んでいる。)

だれ(誰) ダイ [dai~dai] 例:ダイト イクナ。(誰と行くのか。) / ダイナ ツリニイ  
クワ。(釣りに行くのはだれか。)

たわら(俵) タワラ [tawara] [k1] 例:タワラオ モテッチャカ。(俵を持てるか。)

たんこぶ タンコブ [taŋkobu] [h0] 例:ハシラニ アタマオ ドーツケテ タンコブガ  
デキタ。(柱に頭をぶつけたらたんこぶができた。)

たんぼ(田んぼ) タンボ [tambo] 例:タンボワ シタニ アル。(田んぼは下にある。)

ち

ち(血) チ [tei] [k0] 例:チガ デル。(血が出る。)

ちいさい(小さい) チーシャ [tei:ca] 例:ヤー チーサ。(ああ、小さい。) / コイワ  
アイヨリ チーシャニャー。(これはあれより小さいな。)

ちから(力) チカラ [teikara] [k1] 例:カラダガ ヨワッテ チカラガ デン。(体が弱  
って力が出ない。)

ちち(乳) チチ [teitei] [h0] 例:ウチノ ネーサン チチガ ヨー デル。(うちの嫁は  
乳がよく出る。)

ちち(父) チャー [tea:] [k1]、トッサ [tossa~to00a] [k1] 例:チャー キタサカイ  
ヨレヤ。(父親が来たから寄れ。)

ちや(茶) チャ [tea] [h0] 例:チャデモ ワカソーカ。(茶でも沸かそうか。)

ちやわん(茶碗) チャワン [teawan] [h0] 例:ワー チャワンオ オトストコ ヤッタ。



(わあ、茶碗を落とすところだった。)

ちょう (蝶) チョーチョメ [tɕo:tɕome] [k1] 例:クボメノ スーニ チョーチョメガ ヒツカカッタ。(蜘蛛の巣にちょうちよがひっかかった。)

ちょうなん (長男) アニキ [apiki] 例:コトシノ フユワ アソコノ アニキワ オーサカ イッタゾヤ。(今年の冬はあそこの長男は大阪に行ったよ。)

つ

つえ (杖) ツエ [tsue] [h0] 例:ツエオ ツコーテモ ギラデ アルク。(杖を使ってでも自分で歩く。)

つかれる (疲れる) ダイナル [dajnaru] [h0]、モノグイ [monogui] [h3] (疲れている状態)、モノグナル [monogunaru] [h0] (疲れる状態になる)

つき (月) ツキサマ [tsukisama] [k1] 例:ツキサマ デザッシャッタ。(月が出た。)

つくし ツクシ [tukuei ~ tsukuei] [k0]、ツクシンボ [tsukusimbo] [h0] 例:ツクシガ デチョル。(つくしが出ている。)  
【備考:山よりも里に出る。】

つけもの (漬物) クキ [kuki] [k1] 【備考:大根や菜っ葉などの野菜の漬物の総称。山菜は除く。】

つな (綱) ツナ [tsuna] [k1] 例:デカイ ツナオ ツ克蘭ナンヤト。(大きな綱を作らないといけないんだって。)

つの (角) ツノ [tθuno ~ tsuno] [k1] 例:ウシノ ツノ。(牛の角。)/デーカイ ツノシチョッタゾヤ。(あの鹿は)大きな角をしていたぞ。)/ウシメニワ ツノガ アル。(牛には角がある。)

つば (唾) ツバケ [tsubake] [h0] 例:ツバキョー トバスナ。(つばを飛ばすな。)

つぶ (粒) ツブ [tsubu] [h0]

つぼ (壺) ツボ [tsubo] [h0, k0] 例:コノ ツボ ヨッポド タカイヤロニャー。(この壺は相当高いだろうなあ。)

つま (妻) オッカ [okka]、イネ [ine] 【備考:オッカは呼びかけに使えるが、イネは呼びかけに使えない。】

つむじ (旋毛) ボー [bo:] [k1] 例:ボーガ イクツモ アット ワーリ コニ ナッチャーゾ。(つむじがいくつもあると、悪い子になるぞ。)

つめ (爪) ツメ [tsume] [k0] 例:ヨル ツメ キルト オヤノ シニメニ アエン。(夜つめを切ると親の死に目に会えない。)

つめたい (冷たい) ツペーチャ [ʔpe:tea]、ツペチャ [ʔpetea] [h2] 例:ツペトテ。(冷たくて。)/ツペータカッタ。[h2] (冷たかった。)/ヤー ツペータ。[h2] (ああ、冷たい。)/ツペートナイ。(冷たくない。)[h0] /ツペートナル。[h0] (冷たくなる。)  
【備考:[ʔp]で始まる語はこれのみ。アクセント記号 [h2] は [ʔpe':tea] [ʔpe'tea]。ツベチャ [tsbetea] [k1] とも】

つゆ（露） ツユ [tsujju] h0 例：ツユガ オリチョル。（露が下りている。）

つらら（氷柱） ガマダレ [gamadare] h0 例：ガマダレガ サガッタ。（つららができた。）／ガマダレガ サガッチョル。（つららが下がっている。）

て

て（手） テー [te:] h0 例：テー ツナグ。（手をつなぐ。）

でづくり（出作り） デズクリ [dedðukuri~dezukuri~dezuwuri] h0 【備考：夏の間、山の家で過ごして食物を作ること。】

でづくりからかえること（出作りから帰ること） ジャーマ [za:ma~dza:ma] h0 、  
ジャマ [dzama] 例：Xノ シャー キョー ジャーマ シッチャト。（Xの人達は、今日、出山するんだって。）／ギラ キョー ジャマシタヤ。（私は今日、出作りを終えたよ。）

でづくりへいくこと（出作りへ行くこと） ヤマイリ [jamairi~jamairi] k0 例：キョー Xノ シャー ヤマイリ シタヤト。（今日、Xの人達が、入山したんだって。）／キョーワ ヤマイリヤ。（今日から出作りへ行く。）

てっぺん テッペン [teppen] 例：キョーワ テンキガ ヨイサカイ ヤマノ テッペンマデ ヨー ミエルワ。（今日は天気がいいから山のとっぺんまでよく見える。）

てぬぐい（手ぬぐい） テノゴイ [tenoŋoi] h0 例：カオ フク テノゴイ ドコ ヤッタ。（顔をふく手ぬぐいどこにやった？）

てのひら（手の平） テノヘラ [tenohera] h3

てんじょう（天井） テンジョー [tendzo:] h0 例：ココワ ナンチュー テンジョーガ タカイニャー。（ここは天井がすごく高いね。）／コノ ウチワ テンジョーガ タカイニャー。（この家は天井がすごく高いね。）

てんぷら（天ぷら） アブラゲ [aburage] h0 、テンプラ [tempura] h0 例：ジゲノ アブラゲ ンマイヤ。（白峰の天ぷらはうまいよ。）／ナンノ テンプラ シンナ。カッツキノ テンプラ シッチャ。（何の天ぷらをするのか？ジャガイモの天ぷらをするよ。）

と

と（戸） ト [to] k0 例：トーガ ハズレチョル。（戸がはずれている。）／オビド。（台所の奥のほうにある六尺ほどの幅の広い戸。）

どう ジャー [dza:] h0 例：ジャー シタラ ヨイナ。（どうしたらいいの。）

とうがらし（唐辛子） ナンバ [namba] k1 例：チーサイ コラ ナンバ クワン。（小さい子供達はとうがらしを食べない。）

どうくつ（洞窟） マンポ [mampo] 例：アシコノ ヤマニ イッタラ マンポガ アツテワイ。（あそこの山に行ったら洞窟があったよ。）

とうげ（峠） トーゲ [to:ŋe] k1 、トーギヤ [to:ŋja] l 、トーニャ [to:ŋa] 例：ゴマンドトーゲ コシテ イコー。（ゴマンド峠を越して行こう。）／トーゲニワ タイガイジゾーサン アッタ。（峠にはたいてい地藏さんがあった。）【備考：タニトーゲやゴマンドト

ーゲなどがある。タニトーゲには、白峰から一体、福井から一体持ってこられたユーナイジゾー（「言ってはいけない」の意）という地蔵が置かれていた（現在は山から下ろしてきている）。この地蔵にまつわる民話がある。】

とうふ（豆腐） トッポ [toppo] 例：トッポワ ショーガツダケワ イエデ ツクッチョル。（豆腐は正月だけは家で作っている。）【備考：豆腐は正月だけ家で作り、あとは買った。】

どうぶつ（動物） ドーブツ [do·butθu] k0、ケモノ [kemono] k0、チクショー [teikuco:]

とうみ（唐箕） トーミ [to:mi] h2

とお（十） トー [to:] k1

とおあさ（遠浅） トーアサ [to:asa] 例：ココワ トーアサヤニャー。（ここは遠浅だなあ。）

とかげ（蜥蜴） トカクメ [tokakume] k0

とがったもの（尖ったもの） トンボ [tombo] h0、トンガリ [tonnari] h0

とき（時） トキ [toki] k1、オリ [ori] k1、ホリ [hori] k1 例：アノ トキワ タイフーガ ツヨカッタ。（あの時は台風が強かった。）

どくだみ ドクナメ [dokuname~dokuнамie~dokunamę] h0 例：ココ ドエライ ドクナメワラヤゾイ。（ここは、すごくたくさんドクダミが生えたところだぞ。）

とげ（棘） トゲ [toŋe] k0 例：トゲガ ササッタ。（とげが刺さった。）

どこ ドコ [doko] h0 例：ダイト ドコ イクナ。（誰とどこに行くのか。）

とさか（鶏冠） トサカ [tosaka] k0 例：コノ ニワトリノ トサカワ ケッコナニャー。（この鶏の鶏冠は立派だね。）

とし（年） トシ [toci] k1 例：アノ トシワ デカイコト トレタ。（あの年は大量に採れた。）

とち（栃） トチノキ [toteinoki] k2, k4 例：トチモチ ツイテ クオー。（栃餅をついて食べよう。）【備考：春になると白い花が咲く。正月にはよく栃餅を作って食べた。】

とちのみ（栃の実） トチ [totci] k0 例：トチヒロイニ イッテ コイ。（栃（の実）拾いに行つてこい。）／トチガ ナッチョルワイ。（栃の実がなっているよ。）

となり（隣） トナリ [tonari] k0 例：ヤクバノ トナリニ ユービンキョクガ アルヨ。（役場のとなりに郵便局があるよ。）

ともだち（友達） ツレシュー [tsurecu:] h0、ツレ [tsure] h0

とり（鳥） トリメ [torime] k0 例：トリメガ トンジョル。（鳥が飛んでいる。）

どれ ドイ [doi] k0 例：ドイナ。（どれか。）／ギラノ ツッタ サカナワ ドイナ。（私が釣った魚はどれか。）

とんぼ（蜻蛉） ドンボメ [dombome] h0 例：ドンボメガ トンジョル。（蜻蛉が飛んで

いる。)

## な

な(菜) ナー [na· ~ na:] k0 例: ナー ツクッチョル。(菜を作っている。) / ナージル。(菜の汁。)

ない(無い) ナイ [nai] h0 例: ココニワ クサガ ナイヤ。(ここには草がない。) / ノーテ。 k1 (なくて。)、ナシニナル。 h0 (なくなる)【備考:「なるなる」の意味でノーナルは用いない。】

なえ(苗) ナエ [nae] h0 例: タネ マイテ ナエニ ツクッテ ソイテ ウエンナラン。(種をまいて、苗に作って、そして植えなければならない。)

なか(中) ナカ [naka] 0 例: ドークツワ アブナイ トコヤサカイ ナカニ ハイナ。(洞窟は危ないところだから、中に入るな。)

ながし(流し) ミンジャ [mindza] 0 例: ミンジャミチ。(山から引いてきた水道。)

なし(梨) ナシ [naci] 1 例: ナシ ムイテ クオカ。(梨をむいて食べようか。)

なぜ ナンデ [nande] h0 例: ナンデナ。(なぜか。) / ナンデ ギャーナ コト シタナ。(なんでこんなことしたのか。) / ナンデ コノ サカナ クエンナ。(なぜこの魚は食べられないのか。)

なた(鉦) ナタ [nata] k0 ナタデ タキモンオ ツクル。(なたで薪を作る。)

なだれ(雪崩) ナダレ [nadare~naðare] k1 、トイタナダレ [toitanadare] h0+k1  
例: キョーワ ヌクトイサカイニ ナダレガ デルモシランデ ヨージン シェーヤ。アムニャーゾ。(今日は暖かいから、全層雪崩が起こるかもしれないから、用心しろよ。危ないぞ。) / トイタナダレガ デッサカイ ヨージン セー。(トイタナダレ(春先の大規模な雪崩)が起きるから用心しろ。)

なだれ(雪崩・表層雪崩) アワ [awa] k1 例: キョーワ アワガ デルサカイニ キー ツケンナンゾ。(今日は表層雪崩が起こるから気をつけないといけないぞ。)

なだれのたまったところ(雪崩のたまったところ) ナダレクソ [nadarekuθo ~ nadarekuso ~ nadarekuso] h4 例: アコ イクト ナダレクソガ アッテ カワガ ワタレル。(あそこに行くと雪崩が起きて雪がたまったものがあるって、川が渡れる。) / ナダレクソガ アルニャー。(ナダレクソがあるなあ。) / ナダレクソ バッカヤッタ。(ナダレクソばかりだった。)

なつ(夏) ナツ [natsu] k1 例: コトシノ ナツモ ハクサンマツリニ ジョーニャー。(今年の夏も白山祭りにでる。)

ななつ(七つ) ナナツ [nanatsu] k1

ななにん(七人) シチニン [citeipin] k1

なに ナニ [napi] h0 例: ナニ カイニ イクナ。(なにを買いに行くの。) / コラ ナンナ。(これは何か。)

なべ（鍋） ナーベ [na:be] h0 例：ナーベニ オーギレジルオ ニテアルサカイ クエヨ。（鍋にお一ぎれ汁（豆腐とみそだけで作る汁）が煮てあるから食べるよ。）

なまえ（名前） ナマエ [namae] k0

なみ（波） ナミ [nami] k1 例：キョーワ ナミガ ターキャニャー。（今日は波が高いな。）

なみだ（涙） ナミダ [namida] k1 例：ナミダガ デル。（涙が出る。）

なめこ ススイ [susui~susui] h0、ナメコ [nameko] k1 【備考：ススイが天然のなめこを指すのに対し、ナメコは栽培用のなめこを指す。】

なや（納屋） コゴヤ [kogoja] h0 例：ナツワ フカグツワ イランデ コゴヤニ オイトクワ。（夏は雪靴はいらなから納屋に置いておくよ。）【備考：特に出作りの際の納屋を言う。作業場でもあった。】

なら（檜） ナラノキ [naranoki] k0

なわ（縄） ナワ [nawa] k1 例：ナワオ ノウ。（縄をなう。）／ニーナワ。（荷物を担ぐ縄。）

に

に（荷） ニー [ni:] h0 例：ソノ ニオ ギラ モッテ ヤロコ。（その荷物、私が持ちましようか。）

におい（匂い） ニョーイ [po:i] k0、カザ [kaza] k0 例：ナンチューー キタニャ ニョーイガ シンナ。（なんてくさいにおいがするんだ。）／ヤー キタニャ ニョーイガ シツチャ。ナンノ ニョーイナ。ジャンカ セーヨ。（おい、くさいにおいがするぞ、なんのにおいか。なんとかしろよ。）／ヨイ カザガ スル。（いい匂いがする。）【備考：カザは、いい匂いも悪い匂いも言う。】

にがい（苦い） ニーギヤ [ni:ŋja] k1 例：ニーガカッタ。 h4（にがかった。）／ニーゴナル。 h0（にがくなる。）

にく（肉） ニク [piku] k1 例：コレワ ナンノ ニクナ。（これは何の肉？）／ウサギノ ニクジャ。（うさぎの肉だよ。）【備考：冬はカモシカやウサギを食べた。】

にし（西） ニシ [pici] k0

にじ（虹） ニジ [pizi] k1 例：ニジガ デタゾ。（虹が出たよ。）

にしん（鯨） ニシン [picin]、ニッシン [piccin] k1 例：ニッシンズケ。（にしん漬け。）／フユニ ナルト ダイコト ニッシント ツケテ フユノ サカナニ ソレ タベル。（冬になると、大根とニシンを漬けて、冬の肴にそれを食べる。）

によう（尿） ションベン [comben] 0 例：ヤー ションベン シータ。（ああ、おしっこがしたい。）

にら（菰） ニラ [pira] k1 【備考：山の菰があり、それはとげがある。】

にわ（庭） ニワ [piwa] k0 例：マゴニ ニワオ ソージシテ モロタ。（孫に庭を掃除

してもらった。)

にわとり (鶏) ニワトリ [ɲiwatorɪ] [k2] 例: イエニ ニワトリオ コーチョルゾ。(うちで鶏を飼っているよ。)

にんにく (大蒜) ニンニク [ɲippiku] [k1] 例: アシコノ イエ イクト ニンニククサイ。(あそこの家に行くときにんにくくさい。)/ アノ ヒトワ ニンニククサイ。(あの人はにんにくくさい。)

## ぬ

ぬか (糠) ミヨーシ [mjo:ei] [k0] 、ヌカ [nuka] [k1] 例: アリヤ ミヨーシヤ。(あいつは殻だ(役立たずだ)。)

ぬかをわけるためのざる (糠を分けるための笊) ヤツメ [jatθume] 【備考: 殻を分けるのに使うざるのようなもの。】

ぬの (布) ヌノ [nuno]、ノノ [nono] [k0] 例: ヌノワ キレヤ。(布はきれだ。)

## ね

ね (根) ネー [ne ~ ne:] [h0] 、ネッコ [nekkō] [k1] 例: キーノネガ クサッタ。(木の根が腐った。)

ねこ (猫) ネコメ [nekome] [h0] 、ニヨコメ [ɲokome] [h0] 、ネコ [neko] [h0]  
例: ネコメワ コータコトガ アル。(猫は飼ったことがある。)/ コノヘンワ ニヨコメガ デカイコト オル。(この辺りは猫がたくさんいる。)/ ネコクグリ。(家の壁などに猫が通れるように開けた穴。)【備考: ネズミを捕るために飼っていたことがある。】

ねずみ (鼠) ネズミ [neddumɪ] [h0] 、ネズメ [nezume] [0] 例: マタ ネズミガ カジッチョル。(またネズミが〈家の柱などを〉齧っている。)/ チカゴロ ネズメガ フェテノー。(最近ネズミが増えてね。)

## の

のこ (鋸) ノコギリ [nokogiri] [h3] 例: ワリヤー ノコギリモ ツカエンジャカ。(お前はノコギリも使えないのか。)

のはら (野原) ジャーラ [za:ra ~ dza:ra] [k0] 例: ジャーラ イッテ アソベヤ。(野原に行って遊べ。)/ ココノ ジャーラニワ ヨイ クサガ アッチャ。(ここの野原にはいい草がある。)

のみ (蚤) ノンメ [nomme] [k1] 例: ノンメニ クワレテ テニヤワン。(蚤に刺されてかなわん。)

のみ (鑿) ノミ [nomi] [h0] 例: ノミオ ツカウノワ ムツカシヤニャー。(ノミを使うのは難しい。)

## は

は (歯) ハ [ha ~ ha:] [k1] 例: クチガ ニオウカラ ハー ミガケ。(口がにおうから歯を磨け。)

は(葉) ハー [haː ~ ha:] [k1] 例: キーノ ハガ オチル。(木の葉が落ちる。) / コスワ。(落ち葉。)

はい(灰) ヒヤー [çɑ:] [k0] 例: ストーブニ ヒヤーガ デカイコト タマッテ トランナンジャ。ダイカ トッテ クレンコ。(ストーブに灰がたくさんたまって、とらないといけない。誰かとってくれないか。) / ヒヤー カブッタ。(灰をかぶった。)

はえ(蠅) ビヤーメ [bja:me] [k0] 例: ビヤーメガ デカイコト オッテ テニヤワンニヤー。(蠅がたくさんいてかなわん。)

はか(墓) ハカ [haka] [k1] 例: コノ ジセーデ ハカモ イエモ ツクッチャト エライニヤー。(このご時世墓も家も建てるとえらい。)

はかま(袴) ハカマ [hakama] [k1] 例: ハカマノ スソガ サガッチョッテ メンドナ。(袴のすそが下がっていてみっともない。)

はぐき(歯茎) ハギシ [haŋiɕi]、ハゲシ [haŋeci] [h0] 例: ハギシカラ チガ デル。(歯茎から血が出る。)

はこ(箱) ハコ [hako] [k0] 例: キーデ ハコオ ツクッジャ。(木で箱を作る。)

はさみ(鋏) ハサミ [hasami] [h0] 例: コノ ハサミワ ヨー キレルニヤー。(この鋏は切れる。)

はし(橋) ハシ [haɕi] [k1] 例: イマ ハシオ カケチョル。(今、橋をかけている。)

はし(箸) ハシ [haɕi] [h0] 例: ハシ ツカウノガ ジョーズヤニヤ。(箸を使うのが上手だね。)

はしら(柱) ハシラ [haɕira] [h2] 例: キョー ハシラ タテヅ。(今日は柱をたてるぞ。)

はたけ(畑) ハダケ [hadake] [h0] 例: ココワ ギラガ ハダケヤゾ。(ここは私の畑だぞ。)

はたけしごと(畑仕事) ハタケシゴト [hatakeɕigoto] [h4]

はたけにてきたとち(畑に適した土地) ムツシ [mutsuɕi] [h0]、ムツシワラ [mut0uɕiwarɑ] 【備考: 小さい木が混じって生えている、焼畑に適したところ。】

はち(鉢) ハチ [hatei] [k1] 例: ヤートロー ダレガ ハチ ワッタナ。(おっと、誰が鉢を割ったんだ。) / ハチガ ワレテ シモタ。(鉢が割れてしまった。)

はち(蜂) バチメ [batime] [k0] 例: バチメニ ササレタ。(蜂に刺された。)

はちにん(八人) ハチニン [hacipin]

ばった バッタ [batta] [h0] 例: バッタガ デカイコト オル。(ばったがたくさんいる。)

はったいこ イリコ [iriko] [h0] 例: イリコデモ クオカ。(はったいこでも食べようか。)

はと(鳩) ハットメ [hattome] [k1] 例: コノヘンニ ハットメオ トル リョーシワ オランワイ。(このあたりに鳩をとる猟師はいないよ。)

はな(花) ハナ [hana] [k1] 例: ハナガ ヨー サイチョル。(花がよく咲いている。)

はな（鼻） ハナ [hana] k0 例：キニ ブツカッテ ハナガ マガッタ。（木にぶつかってって鼻が曲がった。）

はなぢ（鼻血） ハナジ [hanazi] k0 例：ハナジガ デタ。（鼻血が出た。）

はね（羽） ハネ [hane] k0 例：トリノ ハネガ ジメンニ オッチョル。（鳥の羽が地面に落ちている。）

はは（母） イネ [ine] k1 【備考：イネは、母や妻のことを指す。「お母さん」や「妻」の項目を参照のこと。】

はま（浜） ハマ [hama] k1 例：ハマデ アソブ。（浜で遊ぶ。）【備考：集落の東側にある崖の下、手取川の河原の意味で用いる。】

はやい（速い） ハーヤ [ha:ja] k1 例：アノ ヒトワ アルクノガ テンポモナイ ハーヤ。（あの人は歩くのがとっても速い。）

はら（腹） ハラ [hara] k1 例：ハラガ デタナ。（腹が出たな。）

はり（針） ハリ [hari] h0 例：ハリニ イトオ トーセンジャ。（針に糸を通せない。）

はりしごと（針仕事） ハンデ [hande]、ハッデ [hadde] k1

はる（春） ハル [haru] k1 例：ハルワ カッツキノ タネオ ウエル。（春はじゃがいもをうえる。）

ばん（晩） バンゲ [banŋe] h0 【備考：日没後就寝までの活動時間。就寝後の非活動時間はヨサリ [josari]。今日の日中からみた本日の夜はコイベ [koibe]、昨日の夜はヨンベ [jombe] という。】

## ひ

ひ（火） ヒーサマ [çi:sama] h0 例：ヒーサマ タケヨ。（火を起こせよ。）

ひ（日） ヒー [çi:] k1 例：ヒーガ ナゴ ナッテ。（日が長くなって。）

ひえ（稗） ヒエ [çie] k0、へー [he:] 例：アラハタニ ヒエ マコカ。（一年目の焼畑に稗をまこうか。）

ひえとこめのめし（稗と米の飯） へーママ [he:mama] k2, k4 例：へーママワ ヤッパ ンモナイニャ。（稗入りの御飯は、やっぱり美味しくないね。）

ひえのごはん（稗のご飯） イー [i:] k1、イーママ [i:mama] k4

ひがし（東） ヒガシ [çiŋaci] k1 例：ヒガシワ ドコヤヨ。（東はどっちか。）／ヒガシカゼガ フイチョルヅ。（東風が吹いているよ。）

ひかり（光） ヒカリ [çikari] 例：ヒカリガ マブシテワイ。（光がまぶしい。）

ひきがえる（墓蛙） イモゴット [imogotto]

ひくい（低い） ヒーキ [çi:kɨ] k1 例：ワイ ギラヨリ セーガ ヒーキニャー。（あなたは私より背が低いね。）／ヒークナル。 h0（低くなる。）

ひげ（髭） ヒゲ [çiŋe] k0 例：ヒゲ スッテ クレ。（髭を剃ってくれ。）

ひこばえ ズワイ [dzuwai] h0 例：キーノ ズワイ。（木のひこばえ。）／キー キッタ



ラ ズワイガ デタ。(木を切ったら、ひこばえが出た。)【備考：木を切った翌年に、切り株に出てくる若い芽。】

ひざ(膝) ヒザ [çiza] k0、へざ [heða] k0、へだ [heda] k0 例：ヒザガ ワロテ アルケン。(膝が笑って歩けない。)

ひじ(肘) ヒジ [çizi] k1 例：ヒジガ マガラン。(肘が曲がらない。)

ひしゃく(柄杓) シャク [çaku] h0、シャクシ [çakuci] h0 例：シャクデ ミズオ クンジョル。(柄杓で水を汲んでいる。)

ひたい(額) フチャー [φutea:]、フチャ [φutea] h0 例：ハシラニ フチャ カツテ イタカッタ。(柱に額をぶつけていたかった。)

ひだり(左) ヒダリ [çidari] h0 例：アソコオ ヒダリエ マーレ。(あそこを左へ曲がれ。) / ショーバイガ ヒダリマエ ナッタ。(商売が左前になった。)

ひと(人) ヒト [çito] 例：ヒトガ ヘッタニャー。(人が減ったなあ。)

ひとつ(一つ) ヒトツ [çitotsu] h2

ひとり(一人) ヒトリ [çitor:i] h2

ひま(暇) ヒマ [çima] k1 例：ヤー ヒマナニャー。(暇だぜ。) / ナーモ シル コトガ ナイサカイ ヒマナニャー。(何もやることがなくて暇だぜ。)

ひまご(ひ孫) ヒコ [çiko] k0

ひも(紐) ヒモ [çimo] k0 例：ア アシコカラ ヒモガ サガッチョルケット ナンデヤロ。(あ、あそこからひもが下がっているけどなんでだろう。)

びょうき(病気) テキナイ [tekinai]、テケナイ [tekenai]、テケニャー [teken'ja:] k1、  
テケニャ [teken'ja] 例：アノヒトワ テキニャーヤト。(あの人は病気だつて。) / ワレワ テキンナルニャー。(おまえはよく病気になるなあ。)

ひる(昼) ヒリマ [çirima] h0 例：ヒリママデ ガンバロ。(昼までがんばろう。)

ひるめし(昼飯) ヒリ [çiri] k1、ヒリマノ ママ [çirimano mama] 例：ヒリ モッテ キタイカ。(お昼ご飯持ってきたか?) / ヒリマノ ママガ イッチャカ ママ クタイカ。(昼飯がほしいか、ごはん食べたか?) / ヒリワ イエデ クーゾ。(お昼ご飯は家で食べるよ。)

## ふ

ふかい(深い) フーキヤ [φu:k'ja] k1 例：フーキヤニャー。((雪が) 深いなあ。) / フーカカッタ。 h3 (深かった。)、フーコナル。 h0 (深くなる。)

ふき(蒨) フキ [φuki] k0 例：フキワラ。(ふきがたくさん生えたところ。) / ドエライ フキワラヤ。(すごくたくさん、ふきが生えたところだ。)【備考：ある程度人がいるところでないと生えない。今は見つけるのに苦労するほど減った。報恩講(ぜんまい、わらび、ふき、うど、こごみの5種類の山菜を使う)の際には煮しめにして椀に入れる。】

ふくらはぎ フクラハギ [φukurahagi] 例：フクラハギガ ツル。(ふくらはぎがつる(こ

むらがえし。)【備考:「コブラガ アガッテ イーチャニヤ」(ふくらはぎがつって痛い)という表現もある。】

ふくろ(袋) フクロ [ɸukuro] [k1] 例:フクロニ イレテ ハコンダラ ラクヤガ。(袋に入れて運んだら楽だ。)

ふけ(雲脂) フケ [ɸuke] [k0]、アカ [aka] [k1] 例:フケガ オチテ テナワン。(フケが落ちてどうにもならない。)

ふし(節) フシ [ɸuci] [k1] 例:コノ イタ フシガ アルニャー。(この板は節があるなあ。) / フシガ デカイコト アル イタワ ヤリニクイ。(節が多い板は扱いにくい。)

ぶた(豚) ブタ [buta] [h0] 例:ブタワ コノヘンニワ オランワイ。(豚はこの辺りにはいない。)

ふたつ(二つ) フタツ [ɸutatsu] [h2]

ふたり(二人) フタリ [ɸutari] [h2]

ぶつだん(仏壇) ジョーダン [dzo:dan] [k0]、ジョーダンサマ [dzo:danθama] [h0]、ブツダン [buddan] [k0]、オナイブツ [onaibutsu] 例:リップナ ジョーダンガ アッタゾヤ。(あの家には)立派な仏壇があったぞ。) / アタラシー ジョーダンサマ コタヤト。(新しい仏壇を買ったんだって。)

ふで(筆) フデ [ɸude] [k0] 例:コノ フデワ ヨイ フデヤニャ。(この筆は良い筆だ。)

ふとん(布団) フトン [ɸuton] [k0] 例:フトンオ ホッショッチャ。(布団を干しているところだよ。) / フトンオ ホスヤ。(これから)布団を干すよ。)

ふね(船) フネ [ɸune] [h0] 例:フネガ シズムヤナイコ。(船が沈むんじゃないだろうか。)

ふぶきでしかいがわるいようす(吹雪で視界が悪い様子) シラビョー [sirabio:] [h3] 例:シラビョーテ マイガ ミエナンダ。(吹雪で白くなり前が見えなかった。)

ふゆ(冬) フユ [ɸuju] [k1] 例:ソロソロ フユノ ヨイ ショーカ。(そろそろ冬の用意しようか。)

ふるい(篩) フルイ [ɸurui] [k0] 例:フルイニ カケヨ。(篩にかけよう。)

ふるい(古い) フンナ [ɸunna] [h2] 例:コノベーワ フンナニャー。(この着物は古いなあ。)【備考:フーリとは言わない。】

へ

へ(屁) へ [he] [h0] 例:へー コイタヤナイコ。(屁をこいたのではないか。)

へいち(平地) ジャーラ [dza:ra] [k0]、ヘラチ [heratei] 例:アコノ ジャーラオトッテ イクト スギバヤシ アッタ。(あそこの平地を歩いて行くと、杉林があった。) / イヤー ケッコナ ジャーラヤニャー。(いやあ、結構な平地だなあ。)

へそ(臍) ヘソ [heso] [k0] 例:ヘソノ ゴミ トッタ。(へそのゴミをとった。)

へちま (糸瓜) ヘチマ [hetcima] h0 例: ヘチマ クーコ クワンコ。(ヘチマを食うか食わないか。)

へび (蛇) ヘンメ [hemme] h0

へら ゴロギヤ [goroŋja] h0

へら (篋) ヘラ [hera] h0 例: ナンチュ ナーギヤ ヘラナ。(すごく長いヘラだね。)

へら・もくせいのへら (へら・木製のへら) ナマタ [namata]、シャクシ [cakuei]

へら・もくせいのへら (へら・木製のへら・稗のご飯を混ぜる) ゴロゲヤ [goroŋja]、ゴロギヤ [goroŋja] h0 例: ヒエノ ゴハンオ ゴロゲヤデ マゼカヤス。(稗のご飯をゴロゲヤで混ぜ返す。)【備考: ゴロギヤはしゃもじの大きいようなもの。ナマタは菜を鍋で返すときに使うもので、二又に分かれている。】

へら・もくせいのへら (へら・木製のへら・二股で、菜などを混ぜる) シャクシ [cakuei]

h2 例: シルジャクシ。(汁をよそう杓子。) / イージャクシ。(稗のご飯をよそう杓子。)

べんじょ (便所) センジャ [senza] k1, h0、ベンジヨ [benzo] k1 例: センジャワ ドコナ。(便所はどこ。)

べんとうばこ (弁当箱) メンパ [mempa] h0 例: メンパニ シロママ イレテアッサカイ。(弁当箱にご飯が入れてあるから。)【備考: わっぱ。まげ物のこと。】

## ほ

ほ (帆) ホー [ho:] h0 例: ホーガ フ克蘭ジョル。(帆がふくらんでいる。)

ほ (穂) ホー [ho: ~ ho:] 0 例: コメノ ホー デチョル。(米の穂が出ている。)

ぼう・ちいさなぼう (棒・小さな棒) ボーギリ [bo:ŋiri] h0、ボーギレ [bo:ŋire]

h0、シッペ [cippe] k1 【備考: 棒で打つことや、その際の棒のことをシッペと言う。】

ほうおんこう (報恩講) ホンコサマ [hoŋkosama]、ホンコサン [hoŋkosan]

ほうおんこうでだすじゅうばこにいれたりょうり (報恩講で出す重箱に入れた料理)

ヒーキモン [çi:kimɔn ~ çikimɔn] h0、ヒーキモノ [çi:kimono]、マワシジュ [mawacidzu]

ぼうかんぐ (防寒具) ワタブシ [watabuei] h0、ツッポー [tsuppo:] h0、ド

ーブク [do:bukku] h0、ワタボシ [wataboei] h0 例: ツッポーオ キル。(ツッポーを着る。)【備考: ワタブシは真綿でできている、座布団くらいの厚みがあるもの。ツッポーは綿入れ半纏のこと。】

ほうき (箒) ホーケ [ho:ke] 0 例: ホーケト チリトリ モッテ イケヤ。(箒とチリトリを持っていけ。)

ほうちょう (包丁) ナガタ [nagata] h0 例: コノ ナガタワ ヨー キレルニヤ。(この包丁はよく切れるね。)

ほくろ ホークロ [ho:kuro] k0 例: ホークロガ ヨー ニタ トコロニ デキルナ。(ほくろがよく似たところができるな。)

ほこり (埃) ホコリ [hokori]、ホコレ [hokore] k0 例: ワッラ ナニ シタナ。ホコ

リガ モーチョヅ。(お前たち何をしているんだ。埃が舞っているぞ。) / ワッラ ホコリ  
ガ アヅ。(お前たち、埃があるよ。)

ほし(星) ホッサマ [hossama] [k0] 例: ホッサマガ デカイコト ゴザル。(星がたくさん見える。)

ほそいしば(細い柴) シッペ [sippe] [k1] 例: シッペガ デチョッテ ジャマニ ナ  
ル。(山の中を歩いていて) 細い柴が出ていて、邪魔になる。)

ほととぎす オットケショー [ottokeeo:] [h3] 例: オットケショーガ マタ ナイ Chol。  
(ほととぎすがまた鳴いている。)【備考: 鳴き声がアシタ オットケショーと聞こえる。「親  
が子に美味しい物をとってきて食わしたら、子は、あまりに美味くて、親は自分たちだけでそ  
れをいつも食べているのかと思って、親を殺したところ、親は全然美味しいものなど食べてい  
なかったことが分かった。それで子は悔やんで「明日、仏しよう(経をあげて供養しよう)」  
と鳴いている」という昔話がある。】

ほね(骨) ホネ [hone] [k1] 例: ホネガ オレルナ。(骨が折れるな(きりが無いこと)。)

ほをきりはなすこと(穂を切り離すこと) ホートリ [ho:tori] [h0] 例: ホートリガマ。  
(穂を切り取る鎌。)

【備考: 畑で鎌で穂を切り離すこと。その後、ホーガチをする。】

## ま

まいたけ(舞茸) マイコ [maiko] [k0] 例: アシコ イッテ マイコガ ナイカ イッ  
テ ミテコーカ。(あそこに行って、舞茸がないか行ってみてこようか。) / マイコ トリニ  
イッテ コー。(舞茸を採りに行ってこよう。)

【備考: 檜の木、栗の木に生える。】

まえ(前) マエ [mae] [k1] 例: マエエ イケ。(前へ行け。)

まき(薪) バイタ [baita] [h0]、タキモン [takimon~takimon~takimon] [h0] 例:  
タキモンオトシ ショーカ。(タキモンオトシ(薪を山から運んでくること)をしようか。)

まき・ほそいまき(薪・細い薪) バイタ [baita]

まくら(枕) マクラ [makuura] [k1] 例: コノ マクラ ナンチュー カタイナ。(この  
枕はすごく固い。)

まご(孫) マゴ [mago] [k1]

また(股) マタ [mata] [k1] 例: メロワ マタ ヒライタラ ダメヤ。(女の方は股を開  
いてはだめだ。)

まつ(松) マツ [matθu] [h0]、マツノキ [matsunoki] [h0] 例: マツノキガ カヤ  
ッタ。(松の木が枯れた。) / アコ イキヤ マツバラヤ。(あそこに行けば松林だ。)

まないた(まな板) キリバ [kiriba] [h0] 例: コノ キリバ アタラシ ナッタニヤ。  
(このまな板新しくなったな。)

まね(真似) マネ [mane] [k1] 例: ヒトノ マネ シンナ。(人の真似をするな。) / マ  
ネシゴンベ。(真似をする人のこと。)

まめ(豆) マメ [mame] [k1] 例: マメ マク。(豆を撒く。)

まゆ (眉) マメ [mame] h0 例: マメマデ シロ ナッタ。(眉まで白くなった。)

まゆ (繭) マイ [mai~maj] h0 例: カイコサンノ マイ。(蚕の繭。)/アコン ヒトワ マイ カズイテ イッタ。(あそこの人は繭を担いで行った。)  
【備考: 繭を作る手前はマムシという。】

まゆ・なながつのおわりにできるまゆ (繭・七月の終わりにできる繭) ナツコ [natouko] k1

まゆ・ろくがつまでにできるまゆ (繭・六月までにできる繭) ハルコ [haruko] k1

まるい (丸い) マルコイ [marukoi] h2

み

み (実) ミー [mi: ~ mi:] k0 例: クマガ ナラノミ クチョル。(熊がナラの実を食べている。)

みかん ミカン [mikan] k1 例: ミカン ヒトツ モツテコイ。(ミカンをひとつ持って来い。)

みぎ (右) ミギ [migi] h0 例: ソコオ ミギエ マーレ。(そこを右へ曲がれ。)

みず (水) ミズ [mizu] k0 例: ミズオ クンジョケ。(水を汲んでおけ。)

みずおけ (水桶) ミズオーケ [mizuo:ke] k0, h0 例: ミズオーケカラ ミズガ コボレチョル。(水桶から水があふれている。)

みずがたまったところ (水が溜まったところ) イケ [ike] k1

みずがめ (水瓶) ミズガメ [mizugame] h0 例: ミズガメニ ボーフラガ ワイチョル。(水瓶にボウフラがわいている。)

みずたまり (水たまり) ミズタマリ [mizutamari] 例: ソコノ ミズタマリニ ハインナヤ。(そこの水たまりに入るなよ。)

みそ (味噌) ミソ [miso] h0 例: ア ミソ イレワスレタ。カンネン。(あ、味噌入れ忘れた。ごめんね。)/ミソ ツク。(味噌つくる。)

みぞ (溝) タンニヤ [tappa] k1 例: タンニヤオ ホレ。(溝を掘れ。)

みち (道) ミチ [mitci] k0 例: コノ ミチオ イカッサレ。(この道を行きなさい。)

みちをつけるさぎょう (道をつける作業) ミチ ツケル [mitci tʉkeru]、ミチ ヒラク [mitci ʃiraku]、ミチ アケル [mitci akeru]、ミチフミ [mitciɸumi] 例: ココニ ミチ ツケヨカ。(ここに道を付けようか。)

みつつ (三つ) ミッツ [mittsu] k1

みつばち (蜜蜂) ミツバチ [mitsubatei]

みなと (港) ミナト [minato] k0 例: コッカラ ミナトマデ トーフテワイ。(ここから港まで遠い。)

みなみ (南) ミナミ [minami] k0

みね (峰) テッペン [teppen] 例: アノ テッペン コシテ イクワイ。(あの峰を越え

て行くよ。)

みの(蓑) ミノ [mino] [h0] 例: アメガ フッテ キタサカイ ミノオ キョーカ。(雨が降ってきたので、蓑を着ようか。)  
【備考: 藁で作った。】

みみ(耳) ミミ [mimi] [k1] 例: ミミガ ッペータカッタ。(耳が冷たかった。)

みみず(蚯蚓) ネメズメ [nemezume] 例: コノ ハタケニ ネメズメガ デカイコト オッテワイ。(この畑にミミズがたくさんいるよ。)

みんな(皆) ミンナ [minna]、ンナ [nna] [k1] 例: ミンナシテ ショー。(みんなでしょう。)

む

むかし(昔) ムカシ [mukaei] [h0] 例: ムカシワ イマトワ ダイブン チガウ。(昔は今とはだいぶ違う。)

むぎ(麦) ムギ [muŋi~muji] [h0] 例: ムギワ ツクッタ コト ナイ。(麦は作ったことがない。)

むぎわら(麦わら) ムギワラ [muŋiwara] [h0]

むこ(婿) ムコ [muko] 例: ムコドリ。(婿とり。)

むささび バンドリ [bandori] [h0]

むし(虫) ムシ [muei] 例: ムシガ マドニ ヒツツイチョル。(虫が窓についている。)

むしろ(簀) ミシロ [mieiro] [k1] 例: ミシロノ ウエニ ソナエモンヲ ナラベヨ。(簀の上にお供え物を並べよう。)

むすめ(娘) ムスメ [musume] [k1]

むつつ(六つ) ムツツ [muttsu] [k1]

むね(胸) ムネ [mune] [k1] 例: ムネガ イーチャ。(胸が痛い。)

むら(村) ムラ [mura] [k1]

め

め(芽) メ [me] [0] 例: アシコノ キーニ クマメ アガッチョルケット アレワ ブナノ メー クイニ アガッチョルツチャ。(あそこの木に熊がのぼっているけど、あれはブナの芽を食いにのぼっているのだろう。)

め(目) メー [me:] [0] 例: メー モノガ ハイッタ。(目にもものが入った。)

めい(姪) メイ [mei] [k1]

めし(飯) ママ [mama] [h0] 例: ママ タク。(飯炊く。)

も

も(藻) カワナ [kawana]、モー [mo:] [k0] 例: イシニ カワナガ ハエチョル。(石に藻が生えている。)

もうちよつと マーヘット [ma:hetto]、マイット [maitto] 例: マーヘット サケオ ツゲヨ。(もうちよつと酒を注げ。)/マーヘット デカイ ナッタラ ヤマエ イケヨ。(もう

ちょっと大きくなったら山へ行けよ。)

もぐさ モンサ [monsɑ] [k1]

もぐら (土竜) ムクロメ [mukurome] [h0] 例: ハタケオ ムクロメガ スイテ イッテ テニアワン。(畑をもぐらが鋤いて行って、どうしようもない。)

もち (餅) モチ [motci] [k0] 例: ウチノ マエノ ジサガ モチガ ノードニ ツマテ シニカケタヤト。(うちの前のじいさんが餅が喉に詰まって死にかけたんだって。)

もっこ モッコ [mokko] [k1] 例: モッコニ イレテ ハコボ。(もっこに入れて運ぼうよ。)

もの (物) モン [mon] 例: シャー モン カウナ。(そんなもの買うな。)

ものおき (物置) セド [sedo]、モノオキ [monooki] [h2] 例: セドノ トオ アケー。(物置の戸を開ける。)

もみ (粃) モミ [momi] [k0]、モミガラ [momiŋara] 例: モミワ クエン。(粃は食べられない。)

もめんいと (木綿糸) カナイト [kanaito] [h0]、カナ [kana] [h0]

もも (腿) モモタ [momota] [h2]、モモタブロ [momotaburo] [h2] 例: アシノ モモタブロ ブツケテ イタインヤ。(足の腿をぶつけて痛いのだ。)

もも (桃) モモ [momo] [k0]、ヤマモモ [jamamomo] [h0] 例: モモノキガ アル。(桃の木がある。) / モモ モイデ クォー。(桃をもいで食おう。)

もよう (模様) ガラ [ŋara] [h0] 例: アノ ベーノ ガラワ ケッコナニヤー。(あの着物の模様は綺麗だなあ。)

もん (門) モン [mon] [k1] 例: モンオ シメチョケヤ。(門を閉める。)

## や

やぎ (山羊) ヤギ [jaŋi] [l] 例: コノヘンニワ ヤギモ オランワイ。(この辺にはヤギもいない。)

やきはた (焼き畑) アラハタヤキ [arahatajaki] [k4, k5]、ナギハタ [naŋihata]、ナギバタ [naŋibata] [k1]、ヤキバタ [jakibata] [k0, k4]

やきはた・あずきをつくるやきはた (焼き畑・小豆を作る焼き畑) アズキバタ [adōukibata] [k4] 【備考: 4年目の焼畑。小豆を作る。ただし4年目は地面のよい所なら稗を作ることもある。】

やきはた・あたらしいやきはた (焼き畑・新しい焼き畑) アラハタ [arahata] [k0] 例: リョーボヤシ コノヘンワ ジメンガ エーサカイ アラハタ コッシャエヨーカ。(リョーボだし、この辺は地面がいいから、焼き畑をしようか。)

やきはた・あわをつくるやきはた (焼き畑・粟を作る焼き畑) アワバタ [awabata] [h3] 【備考: 2年目の焼畑。粟を作る。】

やきはた・だいずをつくるやきはた (焼き畑・大豆を作る焼き畑) マメバタ [mamebata] [k4] 【備考: 3年目の焼畑。大豆を作る。】

やっつ (八つ) ヤッツ [jattsu] [k1]

やねぶしん (屋根普請) ヤネブシギ [janebucigi] [h3]

やま (山) ヤマ [jama] 例: ヤマガ マッシロニ ナッテワイ。(山が真っ白になった。)

やまのいただき (山の頂) ヤマノアタマ [jamaoatama] [h0+k1]、ミネ [mine ~ mine] [k0]、オボネ [obone] 例: アッコノ ヤマノ アタママデ イッテ キタ。(あそこの山の頂上まで行って来た。) / アノ オボネ コエテ ムコーマデ イッテキタ。(あの尾根(山頂)を越えて向こうまで行って来た。)

やまのなかのたいらなところ (山の中の平らなところ) ダイラ [daira] [k0]、ジャーラ [za:ra] [k0]

やり (槍) ヤリ [jari] [k0] 例: ギラ クラデ ヤリオ ミツケタ。(私は倉で槍を見つけた。)

ゆ

ゆ (湯) ユ [ju] [h0] 例: ユー ワカシテ クレンコ。(湯わかしてくれんか?) / ユーワイチョルコ。(湯沸いているか?)

ゆい (結い) イー [i:] 例: イー シル。(結いをする。)

ゆいのう (結納) ユイノー [juino:]

ゆうがた (夕方) ユーガタ [ju:gata] [h0] 例: ユーガタニワ カエッテコイヨ。(夕方には帰ってこいよ。)

ゆうめし (夕飯) バンゲノ ママ [banjenomama ~ banjenomama]、ヨケ [joke] [k1]  
例: バンゲノ ママガ イッチャカ。(夕食がいるか?)

ゆか (床) イタジキ [itaziki] [h2]

ゆき (雪) イキ [iki ~ iki ~ iki] [k1] 例: イキフリ。(雪降り。) / ゲンカンノ イキ サラエーヤー。(玄関の雪かきをしろよ。)

ゆき・すぎのきにつもったゆき (雪・杉の木に積もった雪) シチリン [citeirin] [h2]、ヒチリン [citeiriŋ] [h2] 例: シチリング オッチョル。(杉の木に積もった雪が落ちている。) / ヒチリング カカッタ。(枝に雪が積もった。) / ヒチリング カカッチョル。(枝に雪が積もっている。)

ゆきぐつ (雪靴) フカグツ [ɸukaŋutθu] [h0]、カンジキ [kandziki] [k1] 例: フカグツ ハイテ アスベ。(雪靴を履いて遊べ。) / アワカンジキ。(大きな藁製の雪靴。雪が深いほど、大きなものを履く。) / キョーワ ホーヤエ ハイット フーキャサカイニ アワカンジキ カケテイカンナンニャー。(今日は処女雪に入ると深いから、アワカンジキを履いて行かないといけないなあ。) / チューカンジキ。(アワカンジキほど大きくはない雪靴。)

【備考: 雪靴は藁で作った。】

ゆきにあしをとられる (雪に足をとられる) オチコム [o̞teikomu ~ o̞teikomɯ] [h3]、ハマル [hamaru] [k0]、モグル [moguru] 例: アシガ オチコンデ コロンデ テ



ヤランダ。(足が雪に沈んで、転んでどうしようもなかった。) / カンジキ モッテイカデ ヨー  
 ハマッテ コロンデ テヤランダ。(カンジキを持っていかずに、よく雪に足を取られて、  
 どうしようもなかった。) / ホーヤヤサカイニ オチコム。(処女雪だから足を取られる。)  
 ゆきにあなをほってつくったおとしあな (雪に穴を掘って作った落とし穴) オチゴ  
 ロ [ɔtciŋoro] h0

ゆきやけ (雪焼け) イキヤケ [ikijake ~ ikijake] h0

ゆきわらじ (雪わらじ) ユキワロジ [jukjiwarozi]、ユキワラジ [jukjiwarazi] k0 【備  
 考：足袋の上に履く。藁で作られている。】

ゆきわらじのかかとぶぶんのあてぬの (雪わらじの踵部分の当て布) キビショアテ  
 [kibicoate]

ゆきをふみかためること (雪を踏み固めること) ミチフミ [mitciɸumi] k0

ゆび (指) イビ [ibi] k1、ユビ [jubu] k1 例：イビサキガ キヨーヤナ。(指先  
 が器用だな。)

ゆめ (夢) ユメ [jume] k1 例：コノゴロ アンマレ ユメ ミンニヤ。(この頃あんま  
 り夢を見ないな。) 【備考：以前はエメと言ったかもしれない。】

よ

ようさん (養蚕) コーギヤ [ko:ŋja] k0, h2、ヨーザン [jo:zan]

ようさんようやねうら (養蚕用屋根裏) ヤネ [jane] h0、ニカイ [nikai] h0

ようすい (用水) ミンジャ [m'indza ~ mindza] h0 【備考：昔は村の半分しか水を確  
 保できなかった。加藤藤兵衛が川から水を引いてきて確保できるようになった。】

よこ (横) ヨコ [joko] k0 例：ウンテン シチョッタラ ネコガ ヨコカラ キュー  
 ニ トビダシテ キタ。(運転をしていたら、猫が横から急に飛び出してきた。) / イエノ ヨ  
 コ。(家の隣。)

よだれ (涎) ヨダレ [jodare] k0 例：ヨダレ タラシ Chol。(よだれを垂らしている。)

よつつ (四つ) ヨツツ [jottsu] k1

よなか (夜中) ヨナカ [jonaka] k1 例：チーシャ コガ ヨナカニ メー サマシテ  
 ネラレナダ。(小さい子が夜中に目を覚まして寝られなかった。)

よにん (四人) ヨニン [jopin]、ヨッタリ [jottari]

よめ (嫁) ヨメ [jome] 例：ヨメドリ。(嫁とり。)

よもぎ (蓬) ヨモギ [jomoŋi] h0 例：ヨモギ トッテ コイ。(蓬を取って来い。)

よる (夜) ヨサリ [josari] k1 例：コノ マツリワ ヨサリカラ ハジマル。(この祭  
 りは夜から始まる。)

よるめし (夜飯) ヨケ [joke] k1 例：モーチョコット シット ヨケヤヅ。(もうちょ  
 っとしたら晩御飯だよ。) 【備考：「ヨケ クワッシャッタカ」(晩ご飯し上がりましたか) な  
 どは、挨拶のようにも用いられた。特に、人の家を訪問する際の挨拶として。アサイ (朝食)、

ヒリ（昼食）、ママ（食事）も同様の挨拶に使える。】

ら

らいねん（来年） ミヨーニ [mjo:ni] [h0] 例：ミヨーニワ ヨイ トシナラ エーガニ  
ヤー。（来年はよい年ならいいなあ。）

り

りくち（陸地） リク [rikɯ] [k1] 例：リクガ ミエタゾ。（陸が見えたぞ。）

りゅうせつこう（流雪溝） ミンジャ [mindza] [h0]

りょうり（料理） リョーリ [rio:ri] [k1] 例：イエノ カーチャン リョーリガ ジョー  
ズヤサカイ ナニ ツクテモ ンマイヤ。（家の妻は料理が上手だから、何を作ってもうま  
い。）

りょうりする（料理する） リョール [rio:ru]、ジョール [dzo:ru] [k1] 例：ウサギ リ  
ョーッテ クレ。（うさぎを料理してくれ。）／ウサギオ ジョール。（うさぎを料理する。）

ろ

ろくにん（六人） ロクニン [rokupin] [h2]

わ

わきのした（脇の下） ワキノシタ [wakinocita] [h4] 例：ワキノシタガ カイ。（脇の  
下がかゆい。）

わざ（技） ワザ [waza ~ waða] [k1] 例：スゴイ ワザヤ。（すごい技だ。）

わたし（私） ギラ [gira] [k0] 例：ギラ シル。（私がやる。）

わたしたち（私たち） ギララ [girara] [k0] 例：ギララデ シル。（私たちがやる。）／  
ギララニ ツイテコイ。（私たちについてこい。）

わら（藁） ワラ [wara] [h0] 例：ワラデ ワロジ ツクル。（藁でわらじを作る。）

わらぐつ（藁靴） フカグツ [ɸukaɸutsu ~ ɸukaɸutsu] [h0]

わらじ（草鞋） ワロジ [warozi]、ワラジ [warazi]

わらび（蕨） ワラベ [warabe]、ワラビ [warabi] [k1] 例：ワラベワラ。（わらびがたく  
さん生えたところ。）／アスコ イクト ドエライ ワラベワラヤ。（あそこへ行くと、とて  
もたくさんわらびが生えたところだ。）【備考：報恩講に使う山菜（ぜんまい、わらび、ふき、  
うど、こごみ）の中の一つ。】

わん（椀） ワン [wan] [k0] 例：コノ ワンワ ダレノナ。（このお椀は誰のだ。）